

保健医療福祉復興ビジョン指標の進行状況総括表

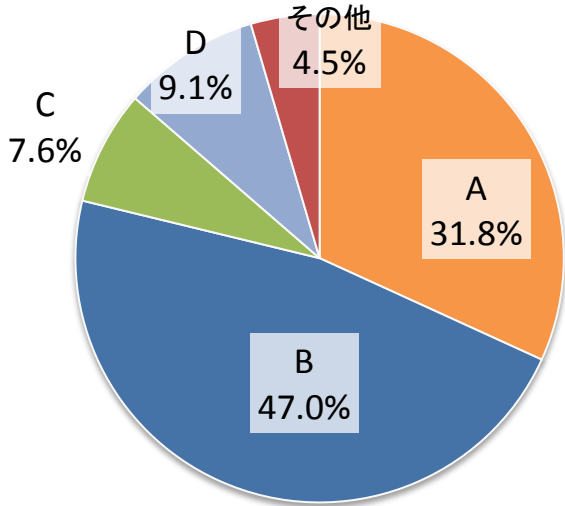
＜目標値がある指標の達成状況＞

A(100%以上) B(80%～100%未満) C(70%～80%未満) D(70%未満)

・モニタリング指標：目標値の設定が困難又は不適當であるが、毎年状況を把握し、公表することが望ましいもの。

基本目標	A	B	C	D	その他	モニタリング指標	計
1 復興へ向けた保健・医療・福祉の推進	2	4	0	1	0	8	15
	28.6%	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%		
2 全国に誇れる健康長寿の県づくり	10	10	2	1	3	1	27
	38.5%	38.5%	7.7%	3.8%	11.5%		
3 地域医療の再生と最先端医療の推進	3	2	0	1	0	0	6
	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%		
4 日本一安心して子どもを生育てられる環境づくり	4	3	1	1	0	3	12
	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%		
5 ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進	2	10	2	0	0	10	24
	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%		
6 誰もが安全で安心できる生活の確保	0	2	0	2	0	2	6
	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
合計	21	31	5	6	3	24	90
	31.8%	47.0%	7.6%	9.1%	4.5%		

指標の目標達成状況



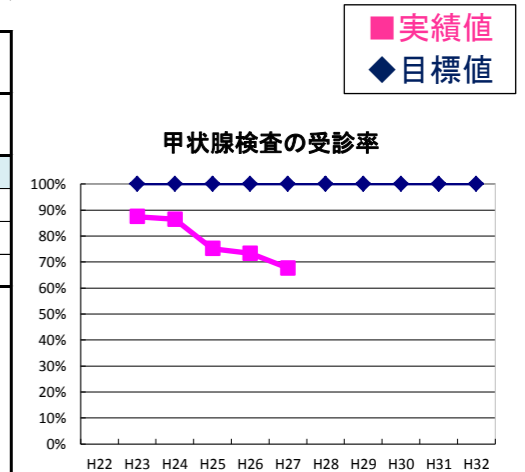
指標の進行状況

①基本目標	1 復興へ向けた保健・医療・福祉の推進
②施策	(1) 復興へ向けた心身の健康管理対策の推進 (2) 医療提供体制の回復 (3) 最先端医療体制の整備 (4) 安心できる子育て環境の整備 (5) 福祉サービス提供体制の復旧 (6) 飲料水及び食品等の安全性の確保 (7) 保健・医療・福祉の連携体制の構築

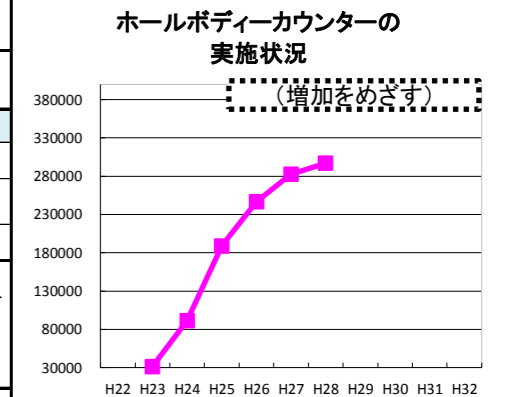
(注)⑥指標の推移
 <目標値がある指標の達成状況>

A(100%以上) B(80%~100%未満)
 C(70%~80%未満) D(70%未満)
 ※増加を目指す指標→実績/目標
 ※減少を目指す指標→目標/実績

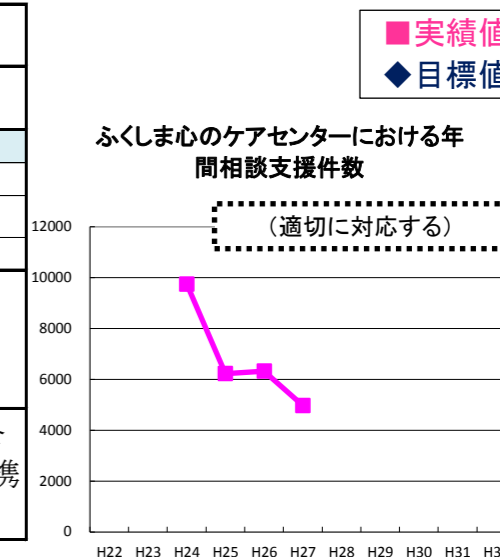
③指標No.、名称	1 甲状腺検査の受診率										
④指標の説明	実施年度の対象者が検査を受診した割合										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績	87.5%	86.5%	75.2%	73.4%	67.7%						
達成状況	—	—	—	—	C	D					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成26年度から二巡目の検査(本格検査)を開始しているが、19歳以上の対象者について、就職や進学に伴い受診率が一巡目の検査(先行検査)に比べ低下している。 なお、対象者には検査の必要性について、理解した上で受診していただいているが、任意であるため100%の受診率を達成することは困難な状況にある。										
⑦今後の課題	19歳以上の対象者の場合、就職や進学に伴う居住地の異動により、所在地の確実かつ継続的な把握及び受診率が低下していることが課題となっている。 また、対象者に甲状腺検査を継続的に受診することの必要性について理解していただくことが必要である。 今後も受診しやすい体制を確保するため、甲状腺検査を担う医師等の養成や県内外での検査機関の拡充を進めていく。										



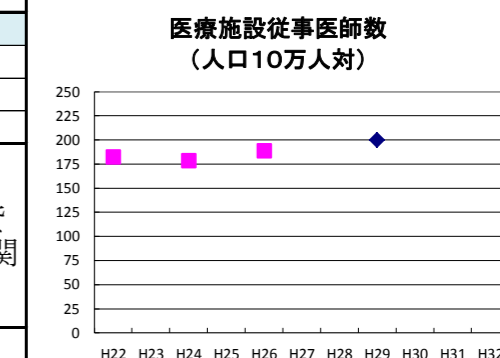
③指標No.、名称	2 ホールボディーカーンター検査の実施状況										
④指標の説明	検査件数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標										
実績		31,622	91,428	189,249	246,690	282,688	297,186 (平成28年8月末累計)				
達成状況	—	—	—	—	—	—	—				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	県外の9検査機関で検査を継続するとともに、これまで検査を実施していない17道府県に車載型WBCを派遣し検査を行ったこと、更に県内では市町村の希望に基づく巡回検査に加えて、平成28年度より県立大野附属ふたば復興診療所敷地内で検査を開始した結果、平成28年度においても受診者数は増加している。(平成28年8月末現在)										
⑦今後の課題	県有WBCの有効活用を図る必要がある。										



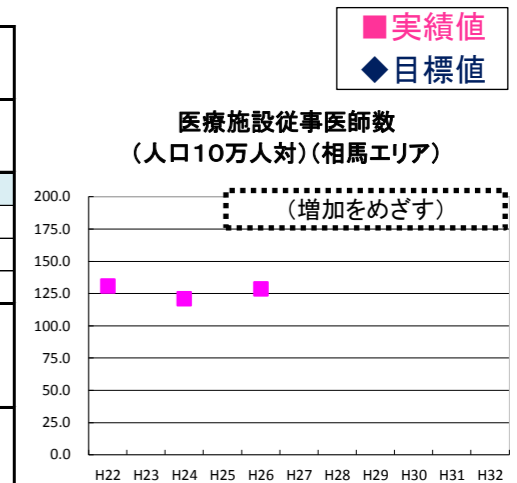
③指標No.、名称	3 ふくしま心のケアセンターにおける年間相談支援件数										
④指標の説明	ふくしま心のケアセンターにおける訪問相談、集団指導での相談、来所相談、電話相談の合計										
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(適切に対応する)							
		—	9,740	6,216	6,324	4,972					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	相談支援件数は平成26年度から平成27年度は件数が減少しているが、被災者に身近な市町村や生活支援相談員への業務支援が平成26年度の9,414件から平成27年度の20,983件と大幅に伸びており、避難生活の長期化等によるハイリスクな住民への相談対応は他の相談機関との連携をさらに深めながら、今後とも充実させていく必要がある。										
⑦今後の課題	避難生活の長期化や帰還に向けた動きなど、被災者それぞれの状況に応じた心のケアがますます重要となっており、県外避難者も含めた支援体制の充実とともに、支援者への業務支援、アルコール問題への対応、市町村や見守り活動を行う生活支援相談員等との連携をさらに強化していく必要がある。										



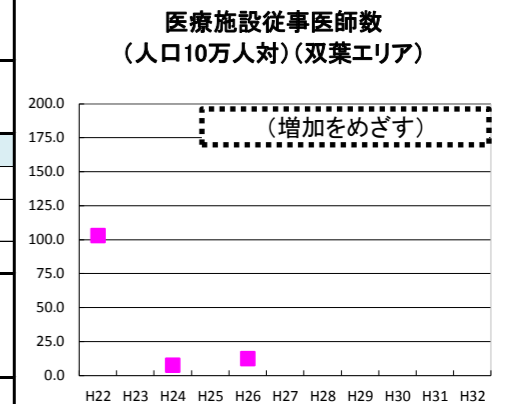
③指標No.、名称	4 医療施設従事医師数(人口10万人対)										
④指標の説明	県内の医療機関に従事している医師数(人口(※)10万人当たり)※総務省公表の人口推計(各年10月1日現在)を使用										
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	182.6	—	178.7	—	188.8	—		200人以上			
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	本県の医師不足は東日本大震災以前から深刻な状況にあり、震災以降、医師の県外流出が進み、さらに減少している。このため、県立医科大学の定員を80名から130名まで増員するとともに、修学資金制度の拡充も行ったところであり、平成26年度から修学資金の貸与を受けた卒業生が県内の医療機関に臨床研修医として採用されたところであり、今後4年以内の専門研修を経て県内の公的医療機関に従事する見込みである。										
⑦今後の課題	県内の医師不足は引き続き深刻な状況であることから、福島県地域医療支援センターの体制を強化し、修学資金被貸与者や自治医科大学卒業医師を始め、医師のキャリア形成支援等を学生の頃から効果的に実施し県内定着を図るとともに、臨床研修医の確保、県外医師招へいなど県立医科大学、県内医療機関、行政等と一体となって医師確保対策を実施していくこととしている。										



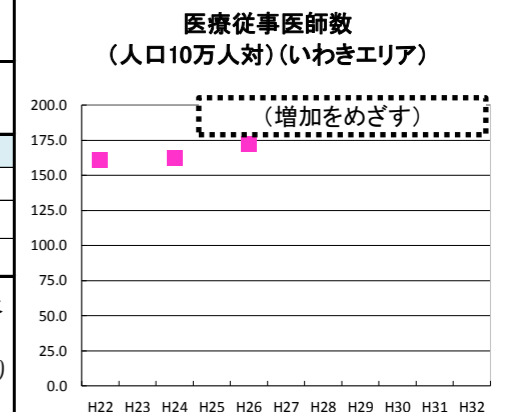
③指標No.、名称	5-1 医療施設従事医師数(人口10万人対)(相馬エリア)										
④指標の説明	相馬エリアの医療機関に従事している医師数(人口(※)10万人当たり) ※県統計課公表の現住人口調査年報(各年10月1日現在)を使用										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	130.8	—	121.0	—	128.6	—	(増加をめざす)				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	相馬エリアの病院の常勤医数は、平成23年3月1日現在で81人であったが、平成23年12月1日現在では55人まで減少した。県立医科大学からの支援教員派遣等もあり、平成27年4月1日現在では86人まで回復しているが、一部医療機関については休止中となっている。今後、避難区域の見直しや住民の帰還状況に合わせて、必要な医療が提供されるよう、必要な支援を行っていく必要がある。										
⑦今後の課題	今後、避難区域の見直しや住民の帰還状況に合わせて、必要な医療が提供されるよう、必要な支援を行っていく必要がある。										



③指標No.、名称	5-2 医療施設従事医師数(人口10万人対)(双葉エリア)										
④指標の説明	双葉エリアの医療機関に従事している医師数(人口(※)10万人当たり) ※県統計課公表の現住人口調査年報(各年10月1日現在)を使用										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	103.0	—	7.4	—	12.2	—	(増加をめざす)				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	多くの医療機関が休止していることから、医師数についても大幅な減となっている。										
⑦今後の課題	多くの医療機関が休止していることから、避難区域の見直しや住民の帰還状況に合わせて、必要な医療が提供されるよう、再開する医療機関に必要な支援を行っていく。										



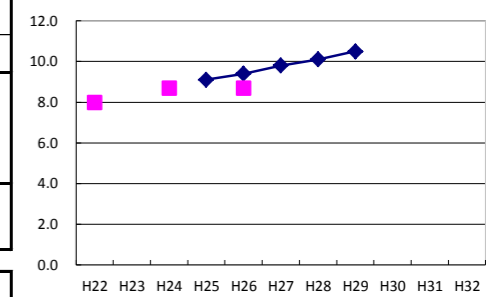
③指標No.、名称	5-3 医療施設従事医師数(人口10万人対)(いわきエリア)										
④指標の説明	いわきエリアの医療機関に従事している医師数(人口(※)10万人当たり) ※県統計課公表の現住人口調査年報(各年10月1日現在)を使用										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	160.4	—	162.0	—	172.1	—	(増加をめざす)				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	いわきエリアの人口10万人あたりの医師数は、震災前の平成22年は160.4人であったが、直近の平成26年は172.1人となっており、震災前より増加している。 また、同エリアの病院の常勤医数も、平成23年3月1日現在の256人に対して、平成27年4月1日現在では259人となっており、震災前より3名増えている。 しかし、同エリアについては、震災前から医師数が減少の傾向にあり、被災住民の受入れにより、医療需要の増大が見込まれている。										
⑦今後の課題	被災住民の受入れにより、医療需要の増大が見込まれていることから、医療提供体制を強化する必要がある。										



③指標No.、名称	6 産婦人科・産科医師数(出生千対)										
④指標の説明	医療機関に従事している産婦人科・産科医師数(出生千対)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	—	—	9.1	9.4	9.8	10.1	10.5	人以上		
	8.0		8.7		8.7						
実績											
達成状況		—	B		B						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	本県における産婦人科医及び産科医の数は震災以前より減少が続いていたが、平成26年は24年に比べ若干の増加となった。(全国平均値は平成20年から増加に転じている。)										
⑦今後の課題											

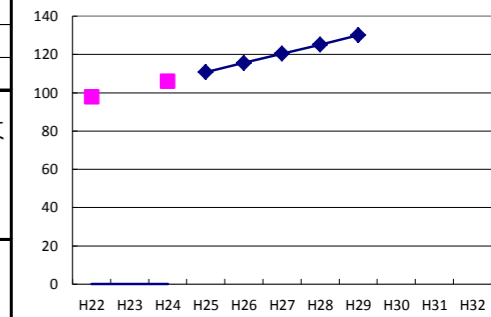
■実績値
◆目標値

産婦人科・産科医師数(出生千対)



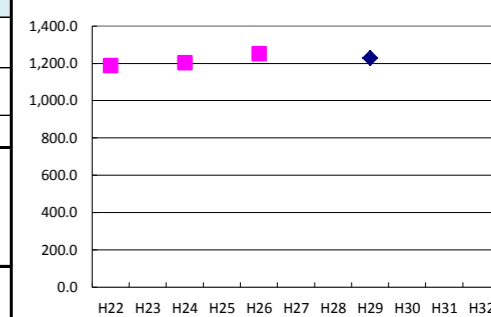
③指標No.、名称	7 病院勤務の常勤小児科医師数(実数)										
④指標の説明	病院に従事している常勤小児科医師数(実数)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	—	—	110.8	115.6	120.4	125.2	130.0	人以上		
	98		106								
実績											
達成状況		—	B								
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	本県における常勤小児科医師数は震災前より増えているものの、厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」における小児科医師数は減少に転じており、15歳未満人口1万人あたりの小児科医師数は引き続き全国平均を下回っている。										
⑦今後の課題	引き続き、小児科医師の確保を図る必要がある。										

病院勤務の常勤小児科医師数(実数)



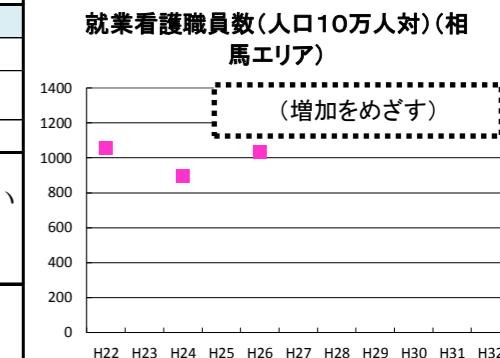
③指標No.、名称	8 就業看護職員数(人口10万人対)										
④指標の説明	県内の保健・医療・福祉関係機関等に従事している人口(※)10万人あたりの看護職員数(保健師・助産師・看護師及び准看護師の数) ※総務省公表の人口推計(各年10月1日現在)を使用										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(暫定値設定なし)				1,228.4	人以上		
	1,188.7		1,203.5		1,252.1						
実績											
達成状況		—	B	—	A						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	東日本大震災・原子力発電所事故の影響により、浜通りを中心に看護職員の県外流出があったが、県全体としては増加傾向にある。										
⑦今後の課題	引き続き福島県看護職員需給計画に基づく様々な事業を重層的に実施していく。										

就業看護職員数(人口10万人対)

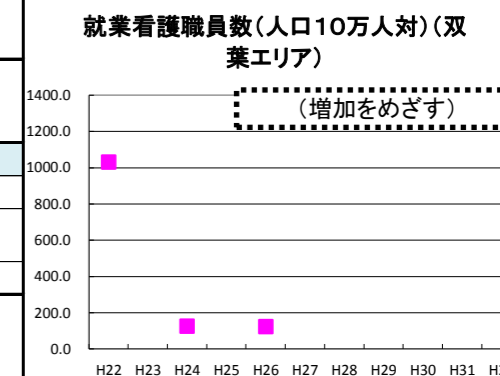


③指標No.、名称	9-1 就業看護職員数(人口10万人対)(相馬エリア)										
④指標の説明	相馬エリアの保健・医療・福祉関係機関等に従事している人口(※)10万人あたりの看護職員数(保健師・助産師・看護師及び准看護師の数)※県統計課公表の現住人口調査年報(各年10月1日現在)を使用										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	1,055.9		895.0		1,034.2		(増加をめざす)				
目標											
実績											
達成状況											
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	東日本大震災・原子力発電所事故の影響により、浜通りを中心とした看護職員の県外流出により相馬エリアの看護職員数も減少している。										
⑦今後の課題	引き続き、福島県看護職員需給計画に基づく様々な事業を重層的に実施していく。										

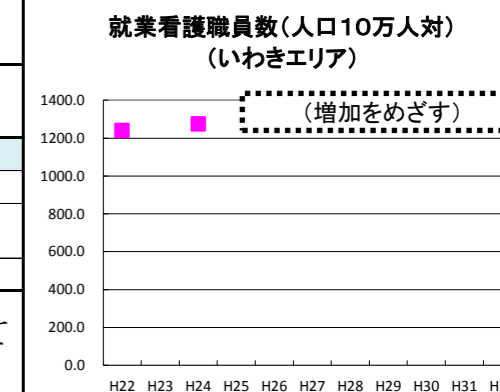
■実績値
◆目標値



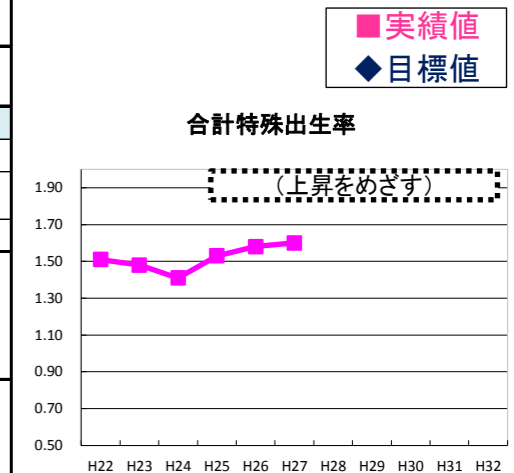
③指標No.、名称	9-2 就業看護職員数(人口10万人対)(双葉エリア)										
④指標の説明	双葉エリアの保健・医療・福祉関係機関等に従事している人口(※)10万人あたりの看護職員数(保健師・助産師・看護師及び准看護師の数)※県統計課公表の現住人口調査年報(各年10月1日現在)を使用										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	1,031.3		126.2		123.2		(増加をめざす)				
目標											
実績											
達成状況											
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	東日本大震災・原子力発電所事故の影響により、双葉郡内で再開できない医療機関があり、看護職員数も大幅な減少となっている。										
⑦今後の課題	引き続き、福島県看護職員需給計画に基づく様々な事業を重層的に実施していく。										



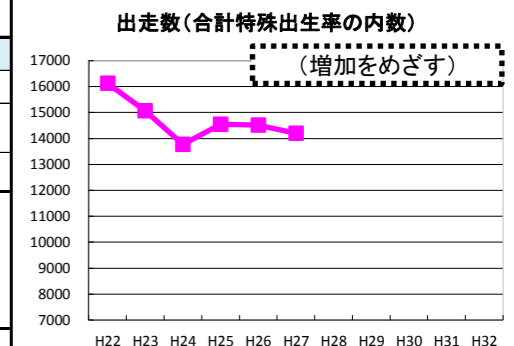
③指標No.、名称	9-3 就業看護職員数(人口10万人対)(いわきエリア)										
④指標の説明	いわきエリアの保健・医療・福祉関係機関等に従事している人口(※)10万人あたりの看護職員数(保健師・助産師・看護師及び准看護師の数)※県統計課公表の現住人口調査年報(各年10月1日現在)を使用										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	1,239.0		1,274.7		1,320.2		(増加をめざす)				
目標											
実績											
達成状況											
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	東日本大震災・原子力発電所事故の影響により、浜通りを中心に看護職員の県外流出があったが、いわきエリアとしては若干増加している。										
⑦今後の課題	引き続き、福島県看護職員需給計画に基づく様々な事業を重層的に実施していく。										



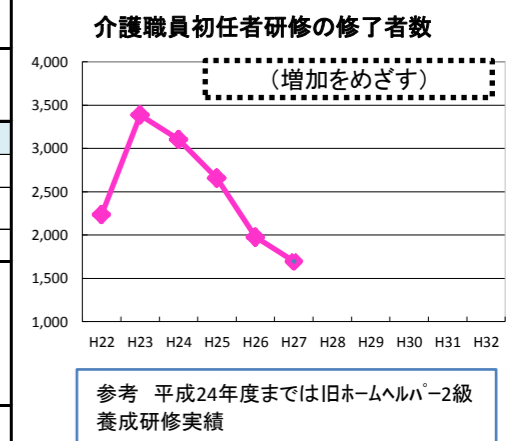
③指標No.、名称	10 合計特殊出生率												
④指標の説明	1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	目標			(上昇をめざす)									
	実績	1.51	1.48	1.41	1.53	1.58	1.60						
達成状況		—	—	—	—	—							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	18歳以下を対象にした医療費無料化、子育てや出産に関する電話相談、各自治体ごとの出産祝金など、出産支援、子育て支援の取組が奏功していると考えられる。												
⑦今後の課題	引き続き、子育てに伴う負担と不安を軽減するため、社会全体で子育てを支援する体制づくりを推進する必要がある。												



③指標No.、名称	11 出生数(合計特殊出生率の内数)												
④指標の説明	それぞれの年に生まれた子どもの数												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	目標			(増加をめざす)									
	実績	16,126	15,072	13,770	14,546	14,517	14,195						
達成状況		—	—	—	—	—							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	合計特殊出生率は増加傾向にあるものの、出産可能な年齢層の女性の人数が減少傾向にあり、これに比例して出生数も減少していくと考えられる。												
⑦今後の課題	子育てに伴う負担と不安を軽減するために社会全体で子育てを支援する体制づくりを推進する必要がある。												

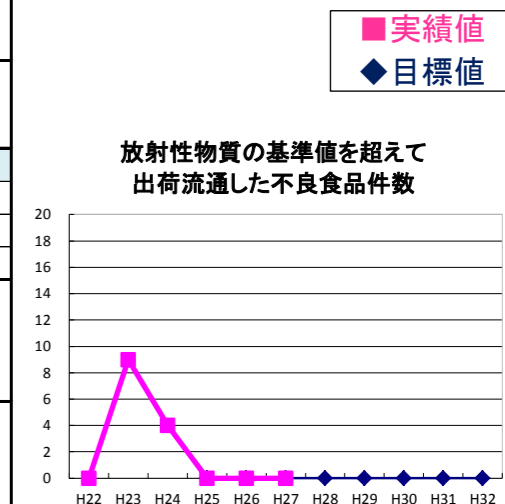


③指標No.、名称	12 介護職員初任者研修の修了者数												
④指標の説明	「介護職員初任者研修事業」について県に提出された研修修了者数の年度計												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	目標			(増加をめざす)									
	実績	2,235	3,384	3,104	2,656	1,976	1,697						
達成状況		—	—	—	—	—							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成24年度まではホームヘルパー2級養成研修終了者数であるが、平成25年度からは制度改正となり「介護職員初任者研修」として実施している。制度変更により、受講者数が減少した。												
⑦今後の課題	適切に研修が行われるよう、研修事業を推進する。												

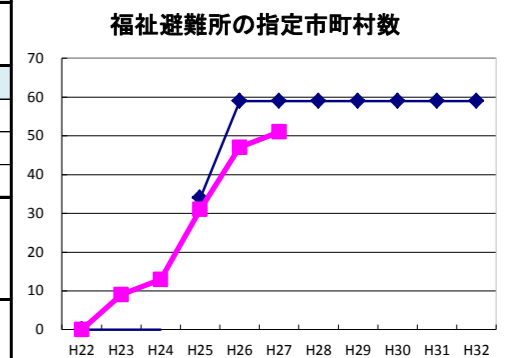


参考 平成24年度までは旧ホームヘルパー2級養成研修実績

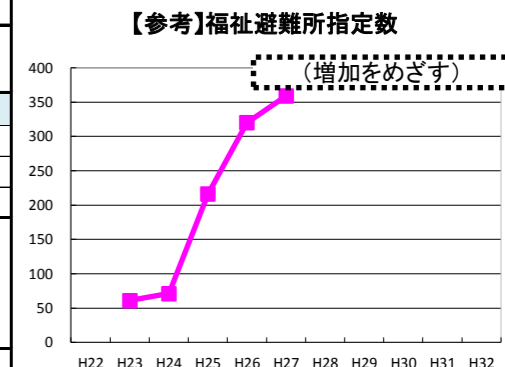
③指標No.、名称	13 放射性物質の基準値を超えて出荷流通した不良食品件数										
④指標の説明	県内で生産・製造等された食品(農林水産物、加工食品)で、食品衛生法に基づく放射性物質の基準値を超えて出荷流通した違反食品件数を計上する。										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	0	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	—	—	—	—	A	A					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	食品中の放射性物質が、食品衛生法上の基準値を超過して出荷、流通販売された違反食品については、25年度、26年度に引き続いて発生がなかった。										
⑦今後の課題	引き続き、不良食品の発生の防止に努める。										



③指標No.、名称	14 福祉避難所の指定市町村数										
④指標の説明	福祉避難所を指定している市町村数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	—	—	34	59	59	59	59	59	59	59
	—	9	13	31	47	51					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	前年度より4市町村増加。28年度中に3市町が指定予定。										
⑦今後の課題	災害時に福祉避難所が円滑に開設されるよう県災害対策課と連携し市町村の福祉避難所開設訓練を支援していく。また、全市町村での指定に向け未指定市町村への働きかけを行っていく。										



③指標No.、名称	15 【参考】福祉避難所指定数										
④指標の説明	指定を受けている福祉避難所の数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	—	—	216	320	359	(増加をめざす)				
	—	61	71	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	前年度より39施設増加しており、着実に指定施設が増えている。										
⑦今後の課題	災害時に福祉避難所が円滑に開設されるよう県災害対策課と連携し市町村の福祉避難所開設訓練を支援していく。また、全市町村での指定に向け未指定市町村への働きかけを行っていく。										



指標の進行状況

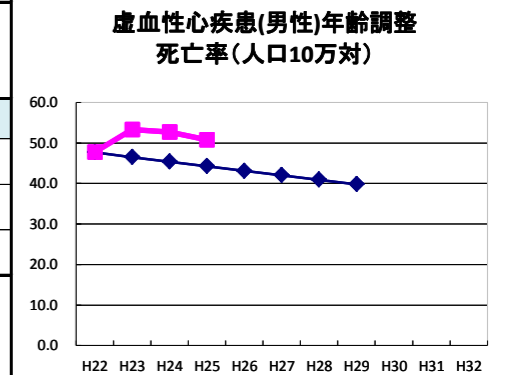
①基本目標	2 全国に誇れる健康長寿の県づくり
②施策	(1) 復興へ向けた心身の健康管理対策の推進(再掲) (2) 心身の健康を維持、増進するための環境づくりの推進 (3) 生活習慣病を予防するための環境づくりの推進 (4) がん予防・医療の推進 (5) 高齢者の介護予防の推進 (6) 健全な食生活を育むための食育の推進 (7) 感染症対策の推進 (8) 歯科口腔保健の推進

(注)⑥指標の推移
<目標値がある指標の達成状況>

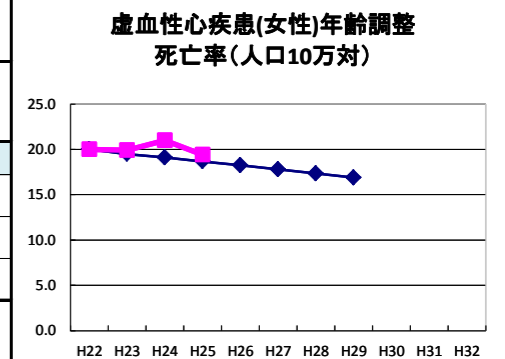
A(100%以上) B(80%~100%未満)
C(70%~80%未満) D(70%未満)
※増加を目指す指標→実績/目標
※減少を目指す指標→目標/実績



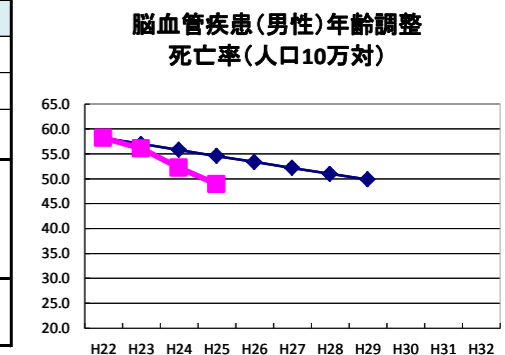
③指標No.、名称	16 虚血性心疾患(男性)年齢調整死亡率(人口10万対)										
④指標の説明	年齢構成の異なる地域間での虚血性心疾患(男性)の死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率(人口10万対)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	47.7	46.5	45.4	44.3	43.1	42.0	40.9	39.8 以下		
	実績	47.7	53.3 ※1	52.7 ※1	50.8 ※1						
達成状況	—	—	—	B							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	実績値は5年ごとに公表されるため比較は困難である。 ※1 県独自に算出した参考値										
⑦今後の課題	発症と重症化を防ぐため、一次予防(発症予防)と二次予防(早期発見・早期治療)の徹底を図る。										



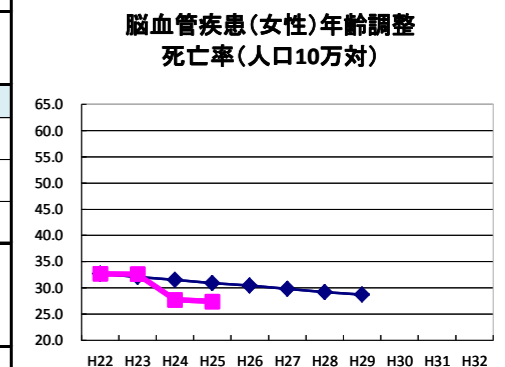
③指標No.、名称	17 虚血性心疾患(女性)年齢調整死亡率(人口10万対)										
④指標の説明	年齢構成の異なる地域間での虚血性心疾患(女性)の死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率(人口10万対)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	20.0	19.5	19.1	18.7	18.2	17.8	17.4	16.9 以下		
	実績	20.0	19.9 ※1	21.0 ※1	19.4 ※1						
達成状況	—	—	—	B							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	実績値は5年ごとに公表されるため比較は困難である。 ※1 県独自に算出した参考値										
⑦今後の課題	発症と重症化を防ぐため、一次予防(発症予防)と二次予防(早期発見・早期治療)の徹底を図る。										



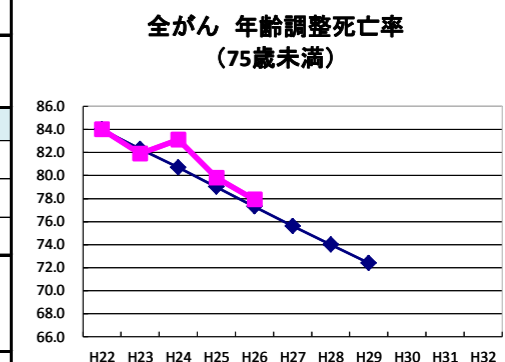
③指標No.、名称	18 脳血管疾患(男性)年齢調整死亡率(人口10万対)										
④指標の説明	年齢構成の異なる地域間での脳血管疾患(男性)の死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率(人口10万対)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	58.2	57.0	55.8	54.6	53.4	52.2	51.0	49.9 以下		
	実績	58.2	56.1 ※1	52.2 ※1	48.9 ※1						
達成状況	—	—	—	A							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	実績値は5年ごとに公表されるため比較は困難である。 ※1 県独自に算出した参考値										
⑦今後の課題	発症と重症化を防ぐため、一次予防(発症予防)と二次予防(早期発見・早期治療)の徹底を図る。										



③指標No.、名称	19 脳血管疾患(女性)年齢調整死亡率(人口10万対)										
④指標の説明	年齢構成の異なる地域間での脳血管疾患(女性)の死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率(人口10万対)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	32.7	32.1	31.5	30.9	30.4	29.8	29.2	28.7 以下		
	実績	32.7	32.6 ※1	27.7 ※1	27.4 ※1						
達成状況	—	—	—	A							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	実績値は5年ごとに公表されるため比較は困難である。 ※1 県独自に算出した参考値										
⑦今後の課題	発症と重症化を防ぐため、一次予防(発症予防)と二次予防(早期発見・早期治療)の徹底を図る。										



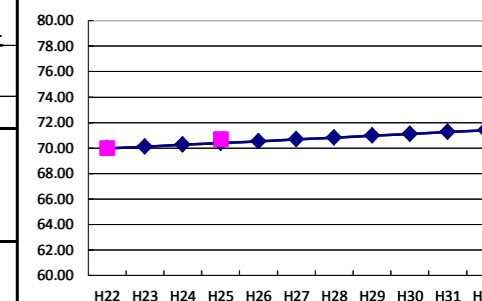
③指標No.、名称	20 全がん 年齢調整死亡率(75歳未満)										
④指標の説明	年齢構成の異なる地域間での全がんの死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率(人口10万対)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	84.0	82.3	80.7	79.0	77.3	75.6	74.0	72.4 以下		
	実績	84.0	81.9	83.1	79.8	77.9					
達成状況	—	—	—	—	B						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	実績値:都道府県別75歳未満年齢調整死亡率(がん情報サービス) 見通し:ほぼ目標値に沿って減少傾向にある。										
⑦今後の課題	発症と重症化を防ぐため、一次予防(発症予防)と二次予防(早期発見・早期治療)の徹底を図る										



③指標No.、名称	21 健康寿命(男性)											
④指標の説明	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間(男性)											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	目標	69.97	70.11	70.25	70.40	70.54	70.68	70.82	70.96	71.11	71.25	71.39
	実績	69.97	—	—	70.67							
達成状況	—	—	—	A								
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	健康寿命は伸びているが、全国順位は34位から41位に低下している。											
⑦今後の課題	今後、健康寿命延伸に向けた健康づくり対策の実施が必要。											

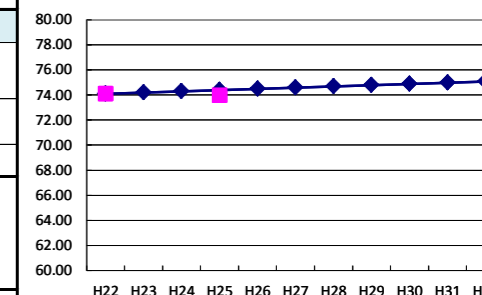
■実績値
◆目標値

健康寿命(男性)



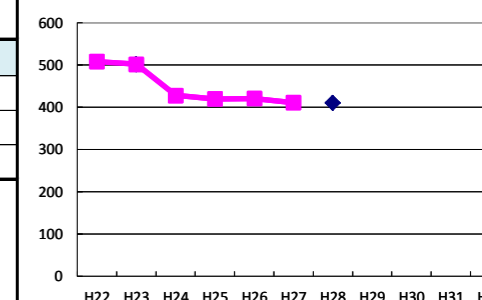
③指標No.、名称	22 健康寿命(女性)											
④指標の説明	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間(女性)											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	目標	74.09	74.19	74.29	74.38	74.48	74.58	74.68	74.78	74.87	74.97	75.07
	実績	74.09	—	—	73.96							
達成状況	—	—	—	B								
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	健康寿命が短くなっており、全国順位も16位から35位に低下している。											
⑦今後の課題	今後、健康寿命延伸に向けた健康づくり対策の実施が必要。											

健康寿命(女性)

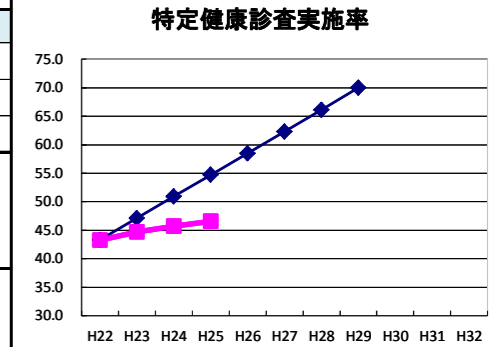


③指標No.、名称	23 自殺者数										
④指標の説明	1年間(1月から12月まで)の自殺者数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標		502	(暫定値設定なし)			410 人以下				
	実績	508	502	428	420	421	411				
達成状況	—	—	—	—	B	A					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	人口動態統計では平成27年の自殺者数は411人であり、前年と比較して10人減少している。過去の震災では、震災後、数年が経過してから自殺者が増加したことから、今後の推移を注視する必要がある。										
⑦今後の課題	被災者の心のケアを着実に実施するとともに、各種相談機関との連携強化や住民に身近な市町村における自殺対策の推進など、今後とも自殺対策を着実に実施していく必要がある。										

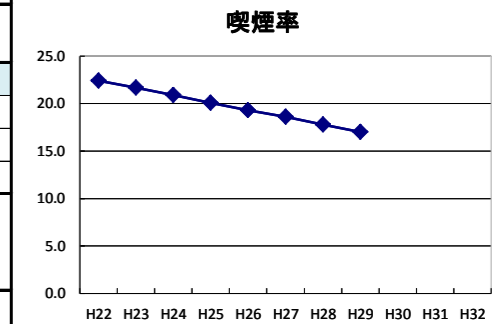
自殺者数



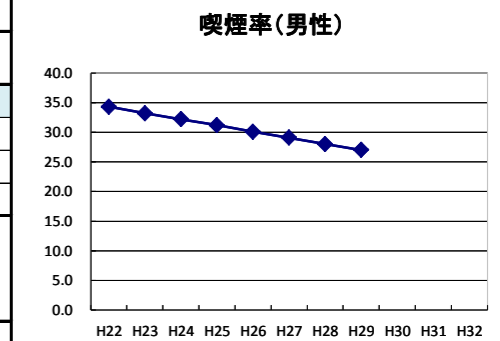
③指標No.、名称	24 特定健康診査実施率										
④指標の説明	40歳から74歳までの特定健康診査対象者の特定健康診査実施率										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	43.3	47.1	50.9	54.7	58.5	62.3	66.1	70.0 %以上		
	実績	43.3	44.7	45.7	46.6						
達成状況	—	—	B	B							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	特定健診の実施率は、全国平均並みに年々上昇しているが、受診者数は対象者の半数以下に留まっており、各保険者間のバラツキが大きい。										
⑦今後の課題	一次予防と併せて、各保険者における実施状況の把握や特定健診の受診率向上に向けた普及啓発等の取組を行う必要がある。また、原子力災害等により長期化している避難者への生活習慣病の予防・早期発見・早期対応等の取組も重要となっている。										



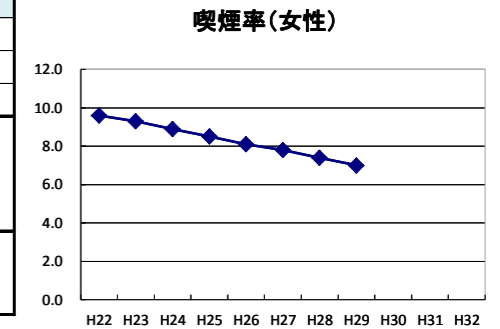
③指標No.、名称	25 喫煙率										
④指標の説明	県民の内、喫煙をしている者の割合										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	22.4	21.7	20.9	20.1	19.3	18.6	17.8	17.0 %以下		
	実績	—	—	—	—	—	—				
達成状況	—	—	—	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	H17年度、H21年度に「県民健康調査」(当時の調査名称)により指標を設定したが、それ以降調査を実施していない。国が行う「国民生活基礎調査」による「毎日または時々吸う日がある」者の割合 H25年25.1%(H22年23.0%)を参考にする。										
⑦今後の課題	H29年度の県がん対策推進計画改定に合わせ、目標設定の見直し及び指標の出典資料の検討(定期的・継続的に状況把握が可能かつ都道府県比較が可能な資料への変更等について)を行う必要がある。										



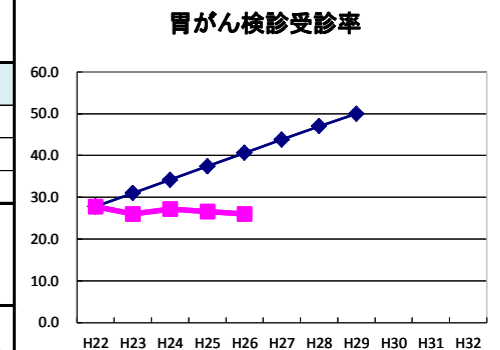
③指標No.、名称	26 喫煙率(男性)										
④指標の説明	県民男性の内、喫煙している者の割合										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	34.3	33.2	32.2	31.2	30.1	29.1	28.0	27.0 %以下		
	実績	—	—	—	—	—	—				
達成状況	—	—	—	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	H17年度、H21年度に「県民健康調査」(当時の調査名称)により指標を設定したが、それ以降調査を実施していない。国が行う「国民生活基礎調査」による「毎日または時々吸う日がある」者の割合 H25年38.9%(H22年36.2%)を参考にする。										
⑦今後の課題	H29年度の県がん対策推進計画改定に合わせ、目標設定の見直し及び指標の出典資料の検討(定期的・継続的に状況把握が可能かつ都道府県比較が可能な資料への変更等について)を行う必要がある。										



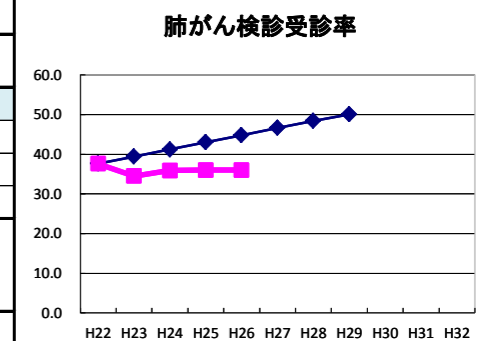
③指標No.、名称	27 喫煙率(女性)										
④指標の説明	県民女性の内、喫煙をしている者の割合										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	9.6	9.3	8.9	8.5	8.1	7.8	7.4	7.0 %以下			
目標											
実績											
達成状況	-										
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	H17年度、H21年度に「県民健康調査」(当時の調査名称)により指標を設定したが、それ以降調査を実施していない。国が行う「国民生活基礎調査」による「毎日または時々吸う日がある」者の割合 H25年12.1%(H22年10.5%)を参考にする。										
⑦今後の課題	H29年度の県がん対策推進計画改定に合わせ、目標設定の見直し及び指標の出典資料の検討(定期的・継続的に状況把握が可能かつ都道府県比較が可能な資料への変更等について)を行う必要がある。										



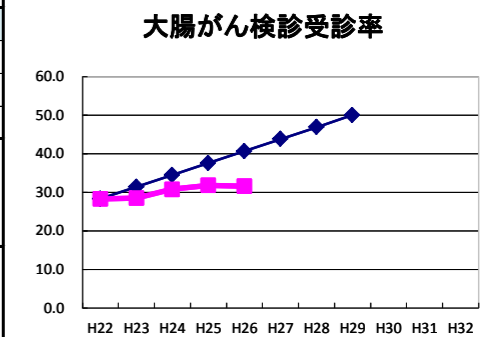
③指標No.、名称	28 胃がん検診受診率										
④指標の説明	市町村が実施する胃がん検診受診率										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	27.8	31.0	34.2	37.4	40.6	43.8	47.0	50.0 %以上			
目標											
実績	27.8	26.0	27.2	26.6	26.0						
達成状況	-										
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	H29年度の50%達成を目指して、逐年増加を目標としているが、前年度より減少しており、H22年度の基準値まで戻っていない。										
⑦今後の課題	検診を受けやすい環境整備やがん検診推進員の養成などに引き続き取り組むとともに、より効果的な受診環境づくりに向け、取組の見直しが必要である。										



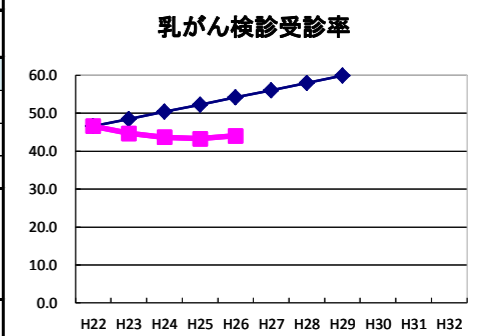
③指標No.、名称	29 肺がん検診受診率										
④指標の説明	市町村が実施する肺がん検診受診率										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	37.6	39.4	41.2	43.0	44.8	46.6	48.4	50.0 %以上			
目標											
実績	37.6	34.5	35.9	36.0	36.0						
達成状況	-										
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	H29年度の50%達成を目指して、逐年増加を目標としているが、前年度から横ばいであり、H22年度の基準値まで戻っていない。										
⑦今後の課題	検診を受けやすい環境整備やがん検診推進員の養成などに引き続き取り組むとともに、より効果的な受診環境づくりに向け、取組の見直しが必要である。										



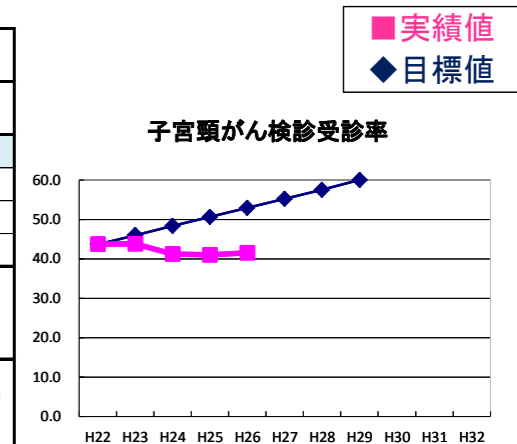
③指標No.、名称	30 大腸がん検診受診率											
④指標の説明	市町村が実施する大腸がん検診受診率											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	目標	28.3	31.4	34.5	37.6	40.7	43.8	46.9	50.0 %以上			
	実績	28.3	28.5	30.8	31.8	31.6						
達成状況		—	—	B	C							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	H29年度の50%達成を目指して、逐年増加を目標としているが、前年度より若干減少しており、H22年度の基準値まで戻っていない。											
⑦今後の課題	検診を受けやすい環境整備やがん検診推進員の養成などに引き続き取り組むとともに、より効果的な受診環境づくりに向け、取組の見直しが必要である。											



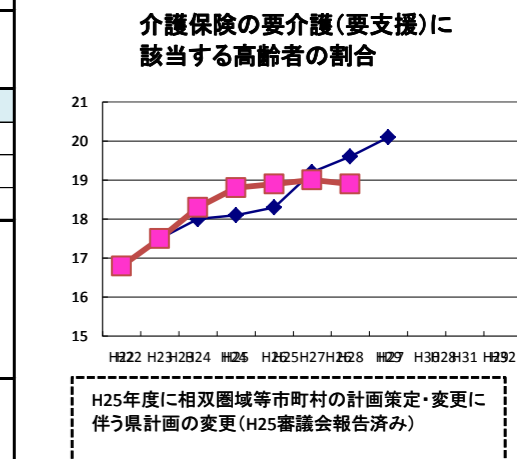
③指標No.、名称	31 乳がん検診受診率											
④指標の説明	市町村が実施する乳がん検診受診率											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	目標	46.6	48.5	50.4	52.3	54.2	56.1	58.0	60.0 %以上			
	実績	46.6	44.7	43.7	43.3	44.1						
達成状況		—	—	B	B							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	H29年度の60%達成を目指して、逐年増加を目標としているが、前年度より若干増加したものの、H22年度の基準値まで戻っていない。											
⑦今後の課題	検診を受けやすい環境整備やがん検診推進員の養成などに引き続き取り組むとともに、より効果的な受診環境づくりに向け、取組の見直しが必要である。											



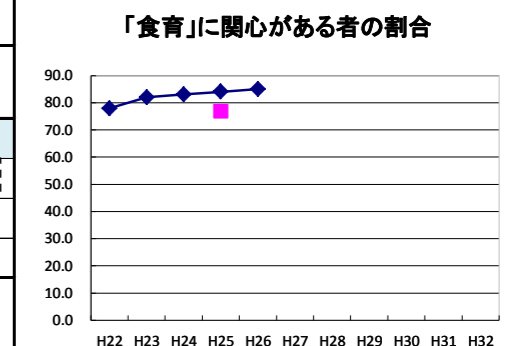
③指標No.、名称	32 子宮頸がん検診受診率										
④指標の説明	市町村が実施する子宮がん検診受診率										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標	43.7	46.0	48.3	50.6	52.9	55.2	57.5	60.0 %以上			
実績	43.7	43.8	41.2	41.0	41.5						
達成状況	—	—	—	B	C						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	H29年度の60%達成を目指して、逐年増加を目標としているが、前年度より若干増加したものの、H22年度の基準値まで戻っていない。										
⑦今後の課題	検診を受けやすい環境整備やがん検診推進員の養成などに引き続き取り組むとともに、より効果的な受診環境づくりに向け、取組の見直しが必要である。										



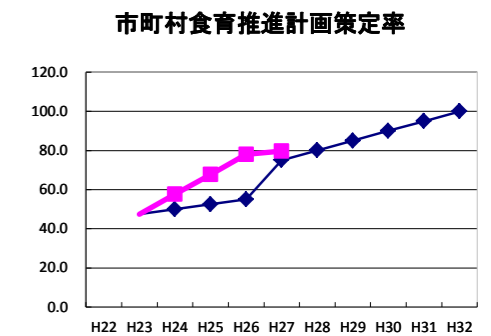
③指標No.、名称	33 介護保険の要介護(要支援)に該当する高齢者の割合										
④指標の説明	第七次福島県高齢者福祉計画・第六次福島県介護保険事業支援計画における介護保険第1号被保険者の要介護(要支援)認定率										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標	—	17.5	18.0	18.1	18.3	19.2	19.6	20.1 %以下			
実績	16.8	17.5	18.3	18.8	18.9	19.0	18.9 (6月速報値)				
達成状況	—	—	—	—	—	A	A				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	県内の高齢化の進展や、被災地における避難者の避難生活の長期化による生活環境の変化などにより、要介護(要支援)高齢者が増加傾向にある。										
⑦今後の課題	仮設住宅等における生活機能支援事業や、相談支援専門職チームによる支援事業など、介護予防事業等をより効果的に実施していく必要がある。										



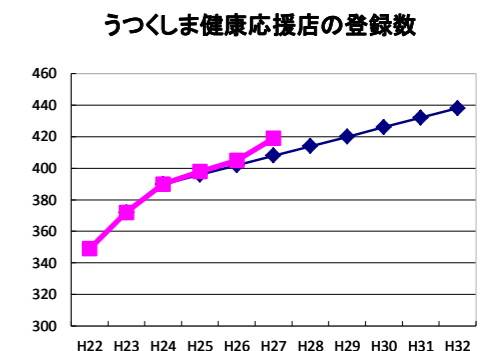
③指標No.、名称	34 「食育」に関心がある者の割合										
④指標の説明	福島県民の「食育」に関心がある者の割合										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標	77.9	82.0	83.0	84.0	85.0 %以上			(上昇を目指す)			
実績	—	—	—	76.9							
達成状況	—	—	—	B							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成25年度目標値84%に対し、現況値は76.9%と目標に達しておらず、県民に広く普及啓発を図る必要がある。なお、現況値の把握は県政世論調査を利用しており、定期的な把握は難しい。										
⑦今後の課題											



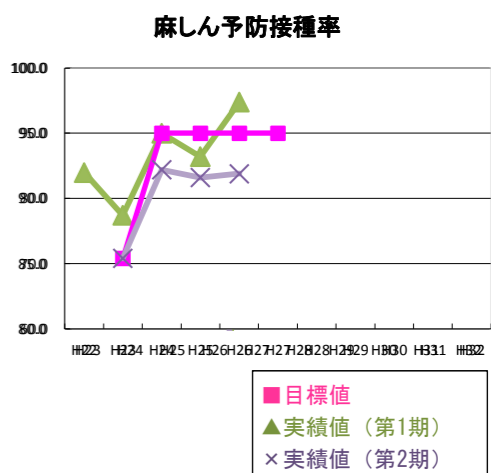
③指標No.、名称	35 市町村食育推進計画策定率										
④指標の説明	市町村が食育推進計画を策定した策定率										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標	—	47.5	50.0	52.5	55.0 %以上	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0
実績	—	47.5	57.6	67.8	78.0 %	79.7					
達成状況	—	—	—	—	—	A					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成27年度目標値75%以上を、現況値は79.7%と達成している。なお、第三次福島県食育推進計画の策定では、目標値を平成32年度に100%とした。										
⑦今後の課題											



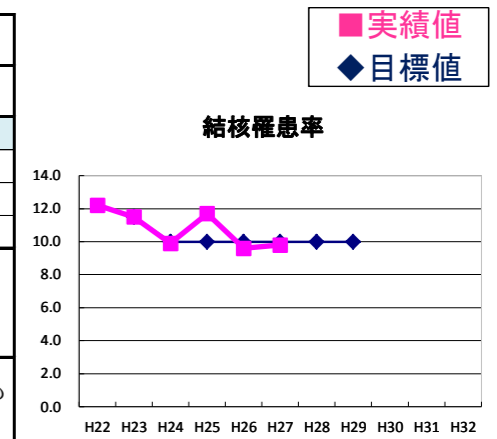
③指標No.、名称	36 うつくしま健康応援店の登録数										
④指標の説明	福島県内におけるうつくしま健康応援店の登録数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標	—	372	390	396	402	408	414	420	426	432	438 店以上
実績	349	372	390	398	405	419					
達成状況	—	—	—	—	—	A					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成27年度目標値408店舗に対し、現況値は419店舗と目標値を達成した。										
⑦今後の課題	登録店舗数の拡大にとどまらず、取組内容の充実により地域の栄養改善につながるような食環境整備の事業展開を図る必要がある。										



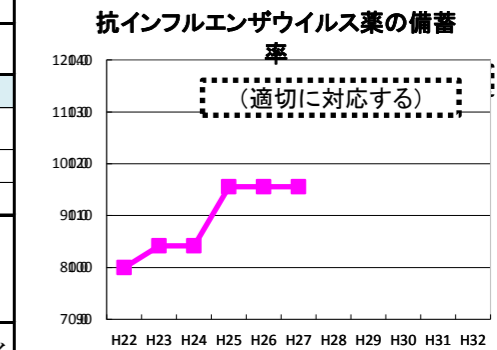
③指標No.、名称	37 麻しん予防接種率										
④指標の説明	予防接種法に基づく対象年齢層における予防接種割合										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標(第1期)	—	88.7	95.0	95.0	95.0	95.0 %以上					
目標(第2期)	—	85.4	95.0	95.0	95.0	95.0 %以上					
実績(第1期)	92.0	88.7	95.0	93.2	97.4	未公表					
実績(第2期)	—	85.4	92.2	91.6	91.9	未公表					
達成状況(第1期)	—	—	—	—	A						
達成状況(第2期)	—	—	—	—	B						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	震災による県外避難者の実績が、正確には反映させれていない場合がある。										
⑦今後の課題	<p>予防接種率の向上のため、予防接種の受けやすい環境づくりを、市町村に対し積極的に働きかける。</p> <p>「福島県麻しん対策指針」に基づき、4月、11月を「麻しんの予防接種強化月間」として定め、県民への周知を図るとともに4半期ごとの接種率の調査を行い、市町村へ情報提供を行うことで、接種率の向上に努める。</p> <p>予防接種率の向上のため、市町村に対して定期予防接種の対象者への個別通知、未接種者の把握と接種勧奨を行うよう指導するとともに、保健関係部門だけではなく、市町村に対して積極的な働きかけを行う。</p>										



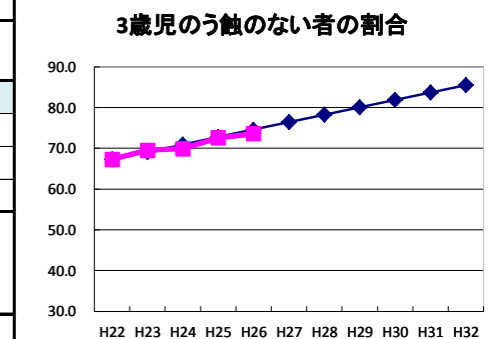
③指標No.、名称	38 結核罹患率											
④指標の説明	人口10万人あたりの新規登録患者数											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	目標	—	11.5	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0 以下		
	実績	12.2	11.5	9.9	11.7	9.6	9.8					
達成状況	—	—	—	—	A	A						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を達成し、全国平均値より低い罹患率で推移している。 ・26年と比較し27年は新規登録患者数が微増したため、罹患率の微増が見られた。 											
⑦今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の患者の割合が高い。高齢者は症状が出にくいいため、早めの診断・治療が必要である。本県は診断の遅れが目立っていることも踏まえ、結核対策特別促進事業を通じたモデル診査会、結核対策技術者研修会等の実施により、早期診断・治療のための適正医療の普及を図る必要がある。 ・また、受診の遅れも見られることから、結核は過去の病気と思われがちだが、現在でも重大な感染症であること等、正しい知識及び予防のための県民に対する普及啓発が必要である。 											



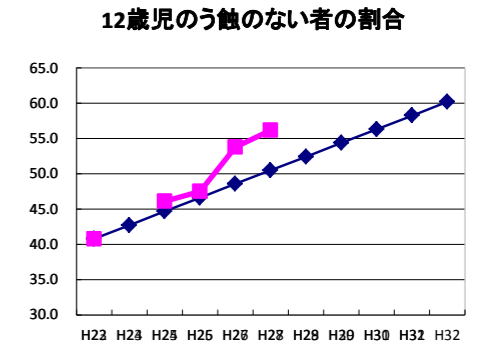
③指標No.、名称	39 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄率										
④指標の説明	国が示す抗インフルエンザウイルス薬の備蓄目標量に対する備蓄量の割合										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標										
	実績	100.0	104.2	104.2	115.6	115.6	115.6				
達成状況	—	—	—	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成28年1月に国が新たに示した「抗インフルエンザウイルス薬の備蓄方針等について」の備蓄目標総数は達成している。										
⑦今後の課題	平成28年1月に国が新たに示した「抗インフルエンザウイルス薬の備蓄方針等について」に基づき、今後も適正な抗インフルエンザウイルス薬の備蓄に努める。										



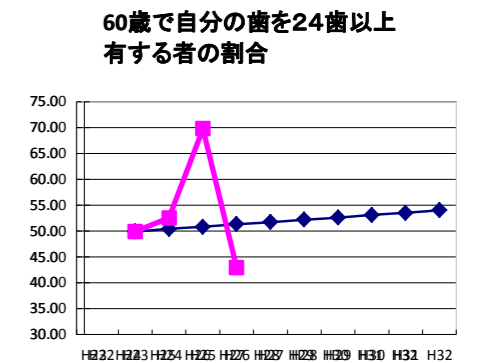
③指標No.、名称	40 3歳児のう蝕のない者の割合											
④指標の説明	3歳児のう蝕のない者の割合(%)											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	目標	67.3	69.1	70.9	72.8	74.6	76.4	78.2	80.0	81.9	83.7	85.5 %以上
	実績	67.3	69.5	69.9	72.6	73.6						
達成状況	—	—	—	B	B							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	改善傾向にあるものの、全国ワーストレベルとなっていることから、幼児期におけるむし歯ハイリスク児に対するフォローアップを強化する必要がある。											
⑦今後の課題	東北地方、九州地方でむし歯が多い傾向にあるが、その要因は明らかにされていない。年度終了後、市町村データを取りまとめることから、結果が把握できる時期が2年後となっている。											



③指標No.、名称	41 12歳児のう蝕のない者の割合										
④指標の説明	12歳児のう蝕のない者の割合(%)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	40.8	42.7	44.7	46.6	48.6	50.5	52.4	54.4	56.3	58.3	60.2 %以上
	40.8	—	46.1	47.5	53.8	56.2					
達成状況	—	—	—	A	A	A					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	目標値に達しているものの、全国平均に達していないため、むし歯予防に効果的なフッ化物の利用等について周知を図る必要がある。										
⑦今後の課題	学校での歯みがき時における歯磨剤の利用状況が低いことから、学校でのフッ化物配合歯磨剤の利用について協力を得る必要がある。										



③指標No.、名称	42 60歳で自分の歯を24歯以上有する者の割合										
④指標の説明	$(60歳代で24歯以上歯を保有している者 / 60歳代検診受診者数) \times 100$										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	49.9	50.4	50.8	51.3	51.7	52.2	52.6	53.1	53.5	54.0 %以上
	—	49.9	52.5	69.8	42.9						
達成状況	—	—	A	A	B						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	目標に対し順調に推移している。										
⑦今後の課題	成人期における歯周疾患予防のための定期的な歯科検診、歯石除去を受ける者の割合が低いため、成人に対する働きかけが必要である。調査が検診を実施している市町村に限られているなど、結果の客観性が低いため、客観性の高い調査の実施が必要である。										

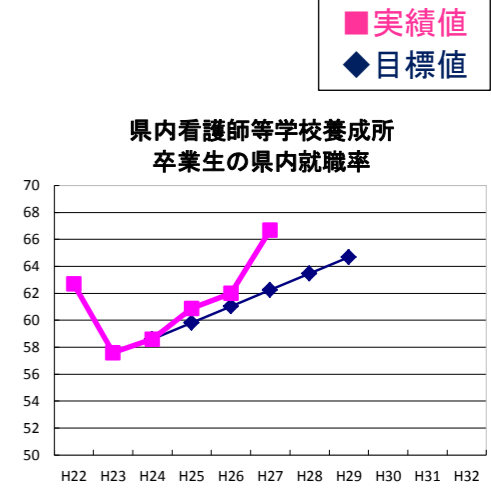


指標の進行状況

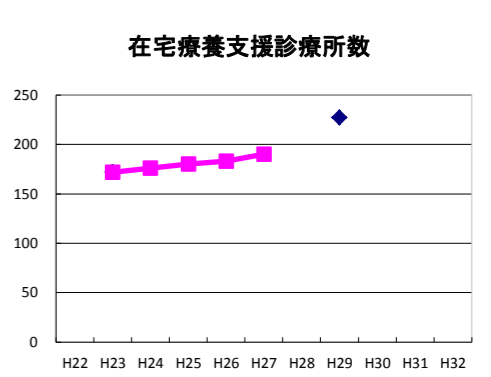
①基本目標	3 地域医療の再生と最先端医療の推進
②施策	(1) 医療提供体制の回復(再掲) (2) 医師、看護師等の確保と資質の向上 (3) 安全、安心な医療サービスの確保 (4) 最先端医療体制の整備(再掲) (5) 血液の確保と医薬品の有効性・安全性の確保

(注)⑥指標の推移
 <目標値がある指標の達成状況>
 A(100%以上) B(80%~100%未満)
 C(70%~80%未満) D(70%未満)
 ※増加を目指す指標→実績/目標
 ※減少を目指す指標→目標/実績

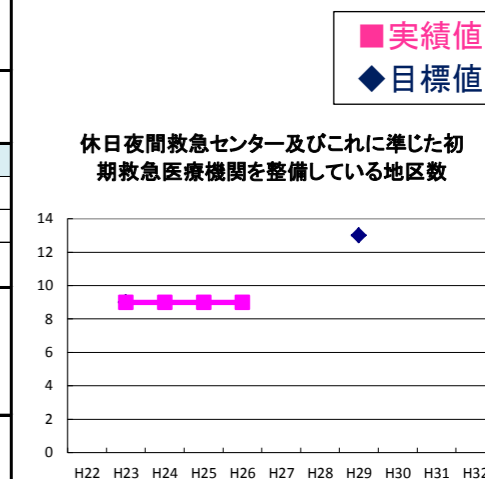
③指標No.、名称	43 県内看護師等学校養成所卒業生の県内就職率																																																
④指標の説明	県内の看護師等学校養成所の卒業生の内、県内の病院、診療所等に就職する者の割合																																																
⑤指標の推移	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td>58.6</td> <td>59.8</td> <td>61.0</td> <td>62.3</td> <td>63.5</td> <td>64.7 %</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>62.7</td> <td>57.6</td> <td>58.6</td> <td>60.9</td> <td>62.0</td> <td>66.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成状況</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	目標			58.6	59.8	61.0	62.3	63.5	64.7 %				実績	62.7	57.6	58.6	60.9	62.0	66.7						達成状況		-	-	-	-	A					
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																						
目標			58.6	59.8	61.0	62.3	63.5	64.7 %																																									
実績	62.7	57.6	58.6	60.9	62.0	66.7																																											
達成状況		-	-	-	-	A																																											
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	福島県看護職員需給計画に基づき「次代の看護を担う人材育成」を目標に掲げ、中高生を対象にした県内養成所説明会や看護学生向け就職説明会など養成所及び学生を対象にした様々な事業を重層的に実施したことによる成果と思われる。																																																
⑦今後の課題	引き続き、取組を継続していく。																																																



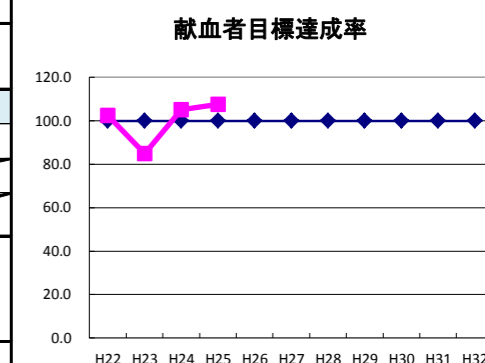
③指標No.、名称	44 在宅療養支援診療所数																																																
④指標の説明	診療報酬施設基準届出 (※H23年度はH23.1月末現在、H24年度以降は3月末現在、東北厚生局福島事務所より)																																																
⑤指標の推移	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>172</td> <td></td> <td></td> <td>(暫定値設定なし)</td> <td></td> <td></td> <td>227 か所以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>172</td> <td>176</td> <td>180</td> <td>183</td> <td>190</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成状況</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>B</td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	目標		172			(暫定値設定なし)			227 か所以上				実績		172	176	180	183	190						達成状況		-	-	-	B	B					
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																						
目標		172			(暫定値設定なし)			227 か所以上																																									
実績		172	176	180	183	190																																											
達成状況		-	-	-	B	B																																											
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	前年度よりも7カ所増加しているが、平成29年度目標達成に向けてさらなる取組が必要。																																																
⑦今後の課題	各医療圏における医療情報ネットワーク整備による病診連携の促進や、地域包括ケアシステムの推進などにより、在宅医療を取り巻く環境を改善しながら在宅療養支援診療所の増加を図っていく。																																																



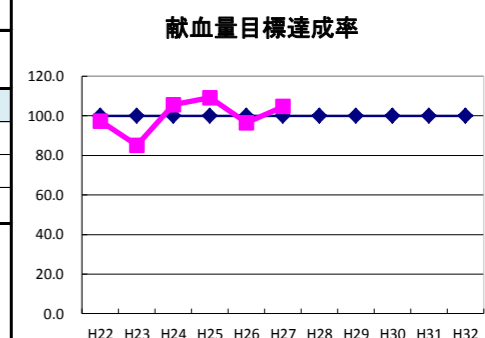
③指標No.、名称	45 休日夜間急患センター及びこれに準じた初期救急医療機関を整備している地区数										
④指標の説明	休日夜間急患センター及びこれに準じた初期救急医療機関を整備している地区数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		9		(暫定値設定なし)				13	地区以上		
目標		9			9						
実績		9	9	9	9						
達成状況		-	-	-	B						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成25年度に田村地方夜間診療所が設置されたが、白河厚生総合病院(白河医師会)の夜間診療連携が終了となり、結果、平成24年度現況値から、変化がない。										
⑦今後の課題	増加に向けた取組を検討していく。										



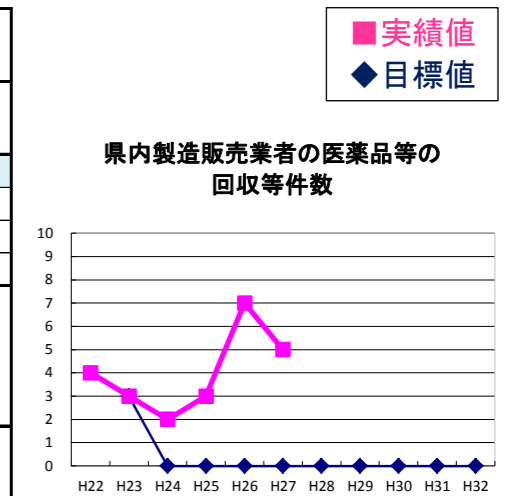
③指標No.、名称	46 献血者目標達成率										
④指標の説明	毎年度設定する献血者目標数の達成状況										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%
目標	102.5	85.0	105.1	107.6							
実績				A							
達成状況		-	-	A							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成25年度の献血者目標数84,500人に対し、献血者実績は91,166人であり、献血者目標達成率は107.6%となっており順調である。										
⑦今後の課題	超高齢化の進展による血液需要の増加が見込まれる中、少子高齢化の影響による献血協力者の減少が懸念されているため、県内の輸血医療に支障を来さないよう、将来の献血を支える10代20代の若年層への献血推進が不可欠な状況である。										



③指標No.、名称	47 献血量目標達成率										
④指標の説明	毎年度設定する献血量目標数の達成状況										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%
目標	97.3	85.1	105.6	109.2	96.6	104.7					
実績					B	A					
達成状況		-	-	-	B	A					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成27年度の献血量目標30,312Lに対し、献血量実績は31,721.88L、目標達成率は104.7%であり、目標を達成することができた。										
⑦今後の課題	超高齢化の進展による血液需要の増加が見込まれる中、少子高齢化の影響による献血協力者の減少により、将来的な血液不足が懸念されている。県内の輸血医療に支障を来さないよう、将来の献血を支える10代20代の若年層への献血推進が不可欠である。										



③指標No.、名称	48 県内製造販売業者の医薬品等の回収等件数										
④指標の説明	県内の医薬品・医薬部外品・化粧品・医療機器製造販売業者の製品の回収(又は改修)件数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	実績	4	3	2	3	7	5				
達成状況		—	—	—	D	D					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	県内の医薬品等製造業者112施設のうち48施設について薬事監視を実施した。監視率は42.9%であった。当該施設の監視に際しては、計画的かつ効率的な実施に努めたが、監視件数(監視率)は低下した。回収件数については、若干減少した。										
⑦今後の課題	薬事監視員研修会等の機会をとらえ、監視員の資質の向上と計画的かつ効率的な薬事監視の実施に努めるとともに、薬事監視を通じて製造業者の製造技術を向上させ、回収件数の減少及び品質異常・安全情報の速やかな収集の徹底を図る。										

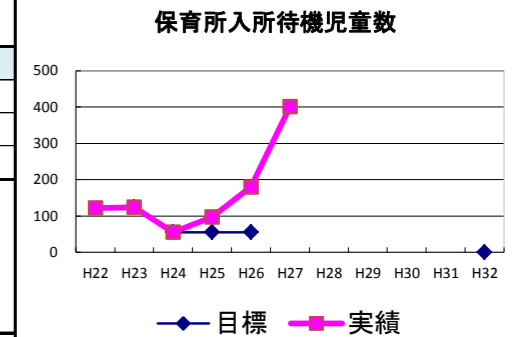


指標の進行状況

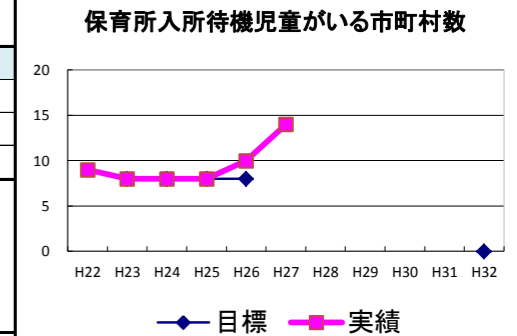
①基本目標	4 日本一安心して子どもを産み育てられる環境づくり
②施策	(1) 安心できる子育て環境の整備(再掲) (2) 社会全体で子育てを支援する仕組みの構築 (3) 子どもの健全育成のための環境づくりの推進 (4) 子育て家庭の経済的支援 (5) 援助を必要とする子どもや家庭への支援 (6) 妊娠・出産・育児の一連において充実した保健・医療体制の確保 (7) 次代の親を育成するための環境づくりの推進

(注)⑥指標の推移
<目標値がある指標の達成状況>
A(100%以上) B(80%~100%未満)
C(70%~80%未満) D(70%未満)
※増加を目指す指標→実績/目標
※減少を目指す指標→目標/実績

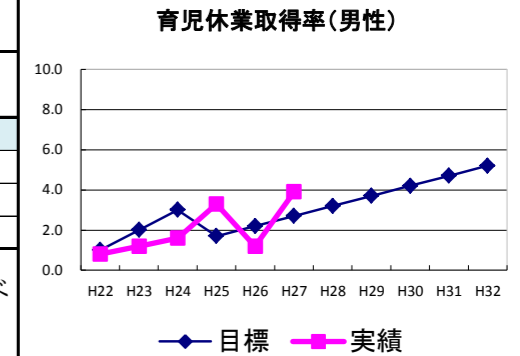
③指標No.、名称	49 保育所入所待機児童数										
④指標の説明	県内で保育所への入所を待機している児童数										
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		124	55	55	55	H27~H31の目標値の設定は無し					0人
	122	124	55	97	180	401					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	子ども・子育て支援新制度への移行により、保育所等への入所要件が緩和され、対象児童が増加したことによる。										
⑦今後の課題	市町村が地域の実情に応じた保育の受け皿を確保できるよう働きかける必要がある。										



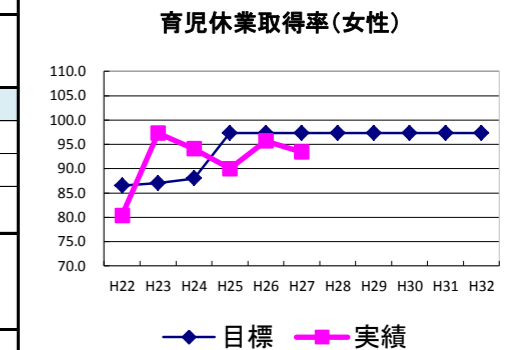
③指標No.、名称	49-1 保育所入所待機児童がいる市町村数										
④指標の説明	県内で保育所への入所を待機している児童がいる市町村数										
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		8	8	8	8	H27~H31の目標値の設定は無し					0
	9	8	8	8	10	14					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	子ども・子育て支援新制度への移行により、保育所等への入所要件が緩和され、対象児童が増加したことによる。										
⑦今後の課題	市町村が地域の実情に応じた保育の受け皿を確保できるよう働きかける必要がある。										



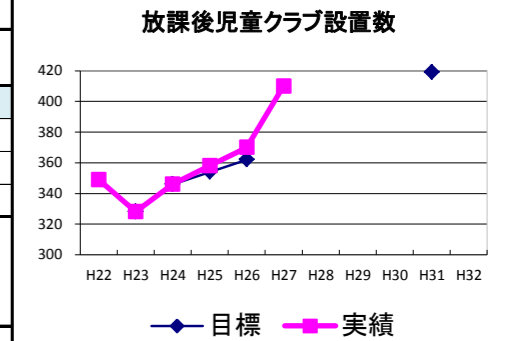
③指標No.、名称	50 育児休業取得率(男性)											
④指標の説明	(労働条件等実態調査における) 出産者及び配偶者が出産した者に占める育児休業者の割合											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	目標	1.0	2.0	3.0	1.7	2.2	2.7	3.2	3.7	4.2	4.7	5.2 %以上
	実績	0.8	1.2	1.6	3.3	1.2	3.9					
達成状況		-	-	-	D	A						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	男性の育児休業取得率は震災前に比べ上昇し、目標値を達成しているが、労働力不足等によって取得しにくい環境にあり、女性に比べ著しく低調である。											
⑦今後の課題	企業等へのワーク・ライフ・バランスの普及啓発など、男女がともに働きながら子育てできる環境づくりを進める必要がある。											



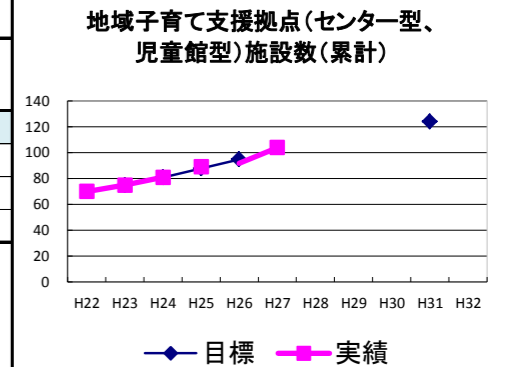
③指標No.、名称	51 育児休業取得率(女性)										
④指標の説明	(労働条件等実態調査における) 出産者に占める育児休業者の割合										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	86.5	87.0	88.0	97.3	97.3	97.3	97.3	97.3	97.3	97.3 %以上
	実績	80.4	97.3	94.1	90.0	95.7	93.4				
達成状況		-	-	-	B	B					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	女性の育児休業取得は定着しており、実績値は90%台で推移している。										
⑦今後の課題	企業等へのワーク・ライフ・バランスの普及啓発など、男女がともに働きながら子育てできる環境づくりを進める必要がある。										



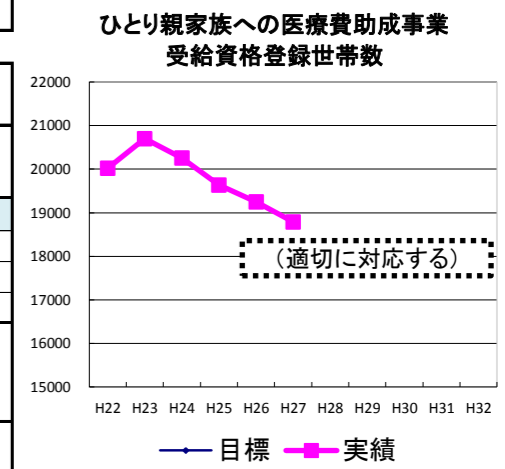
③指標No.、名称	52 放課後児童クラブ設置数										
④指標の説明	県内の放課後児童クラブ(補助対象外も含む)の設置数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		328	346	354	362	H27~H30の目標値の設定は無し				419	か所以上
	349	328	346	358	370	410					
目標実績達成状況		—	—	—	A	A					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	放課後児童クラブの利用ニーズの増加に伴い、クラブ設置数も増加している。										
⑦今後の課題											



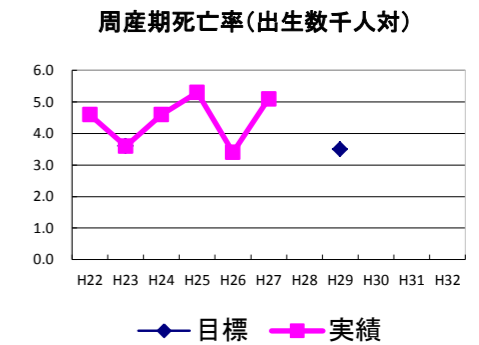
③指標No.、名称	53 地域子育て支援拠点(センター型、ひろば型、児童館型)施設数(累計)										
④指標の説明	県内の地域子育て支援拠点施設(補助対象外も含む)の設置数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		75	81	88	95	H27~H30の目標値の設定は無し				124	か所以上
	70	75	81	89	92	104					
目標実績達成状況		—	—	—	B	A					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	地域子育て支援拠点施設の新設により設置数が増加した。										
⑦今後の課題											



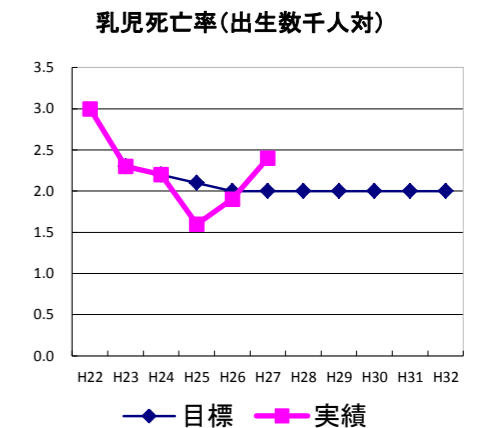
③指標No.、名称	54 ひとり親家庭への医療費助成事業受給資格登録世帯数										
④指標の説明	市町村におけるひとり親家庭等医療費助成事業に係る受給資格登録世帯数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
		20,698		(適切に対応する)							
	20,018	20,698	20,261	19,633	19,250	18,785					
目標実績達成状況		—	—	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	登録数に著しい変化は見られない。										
⑦今後の課題	引き続き適切に対応していく。										



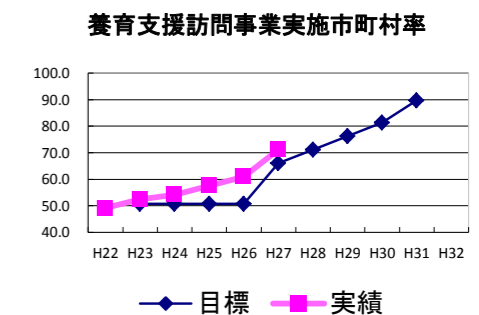
③指標No.、名称	55 周産期死亡率(出生数千人対)										
④指標の説明	妊娠22週以後の死産と生後7日未満までの早期新生児死亡数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	4.6	3.6	4.6	5.3	3.4	5.1		3.5 以下			
目標		3.6		(暫定値設定なし)							
実績		3.6			A	C					
達成状況		—	—	—							
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成27年は5.1と、前年度と比較し1.7ポイント増加した。各年間の変動が大きい状況にあるため、今後も経過を注視していく必要がある。										
⑦今後の課題	周産期医療機関の取組を支援するとともに、ネットワークを強化し、周産期の医療安全を守っていくこととしたい。										



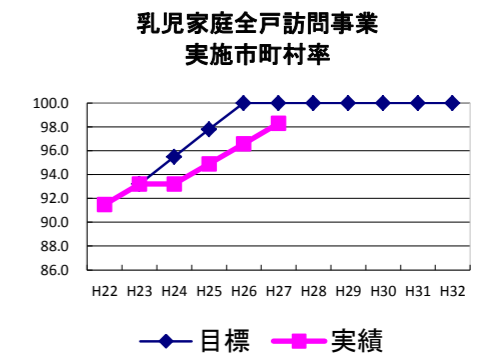
③指標No.、名称	56 乳児死亡率(出生数千人対)										
④指標の説明	出生千に対する生後1年未満の乳児死亡数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	3.0	2.3	2.2	1.6	1.9	2.4					
目標		2.3	2.2	2.1	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0 以下
実績		2.3	2.2	1.6	1.9	2.4					
達成状況		—	—	—	A	B					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成27年度は全国平均より高い状況となったが、長期的には減少傾向にある。										
⑦今後の課題	今後の推移を注視していく。										



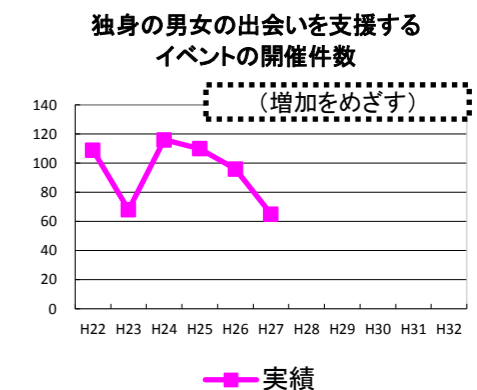
③指標No.、名称	57 養育支援訪問事業実施市町村率										
④指標の説明	社会福祉法による養育支援訪問事業開始届があった市町村数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	49.2	50.8	50.8	50.8	50.8	66.1	71.2	76.3	81.4	89.7 %以上	
目標		50.8	50.8	50.8	50.8	66.1	71.2	76.3	81.4	89.7 %以上	
実績	49.2	52.5	54.2	57.6	61.0	71.2					
達成状況		—	—	—	A	A					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	市町村実施率は上昇し、目標は達成されている。										
⑦今後の課題											



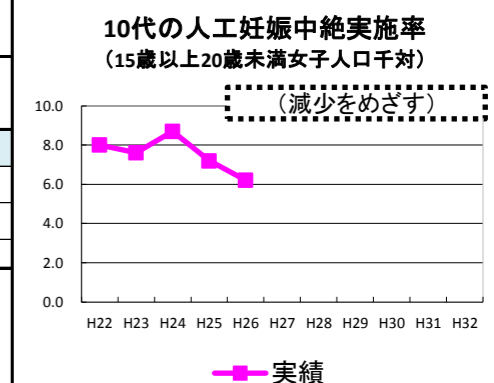
③指標No.、名称	58 乳児家庭全戸訪問事業実施市町村率										
④指標の説明	児童福祉法による乳児家庭全戸訪問事業開始届があった市町村数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	93.2	95.5	97.8	100.0	100.0 %	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	91.5	93.2	93.2	94.9	96.6	98.3				
達成状況		—	—	—	B	B					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	目標値(100%)は下回ったが、実施市町村は着実に増えている。										
⑦今後の課題											



③指標No.、名称	59 独身の男女の出会いを支援するイベントの開催件数										
④指標の説明	1年間で開催された若者交流イベントの件数(県補助事業によるイベントと県登録団体のイベントの合計数)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	—	—	—	(増加をめざす)						
	実績	109	68	116	110	96	65				
達成状況		—	—	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	開催回数が減少傾向にあるが、結婚から子育てまで一貫した情報を提供できる「ふくしま結婚・子育て応援センター」を27年8月に開設したところであり、民間団体における継続的なイベントと合わせ、センターが実施する各種事業の利用者の増加も見込まれることから、今後はイベントの開催回数も増加するものと考えている。										
⑦今後の課題	「ふくしま結婚・子育て応援センター」の開設により県の結婚支援に関する取組、ホームページ、ラジオやタウン誌などの各メディアを活用することにより、結婚を希望する方に効率的に情報発信する。										



③指標No.、名称	60 10代の人工妊娠中絶実施率(15歳以上20歳未満女子人口千対)										
④指標の説明	衛生行政報告例による集計										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	—	—	—	(減少をめざす)						
	実績	8.0	7.6	8.7	7.2	6.2					
達成状況		—	—	—	—						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	H22年から24年にかけて8.0%前後と高水準であったが、H26年には6.2%と全国平均より0.1%高いものの減少している。(H28年11月頃に平成27年の概数値が発表される予定)										
⑦今後の課題	引き続き、思春期に関する相談窓口の周知や望まない妊娠等の相談に対応する。										



指標の進行状況

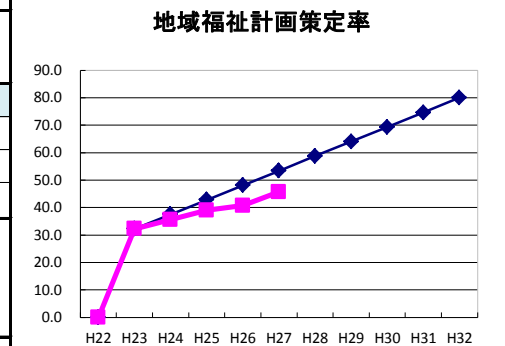
①基本目標	5 ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進
②施策	(1) 人格、人権、個性を尊重する社会づくりの推進 (2) 誰もが人と人とのつながりを感じることができる社会づくり推進 (3) 生活に希望を持ち、自らの能力を発揮できる社会づくりの推進 (4) 福祉サービス提供体制の復旧(再掲) (5) 高齢者を対象とした介護・福祉サービスの充実 (6) 地域生活移行や就労支援など障がい者の自立支援 (7) DV、虐待防止及び被害者の保護・支援 (8) 介護・福祉サービスの質の向上 (9) 生活支援の充実

(注)⑥指標の推移
＜目標値がある指標の達成状況＞

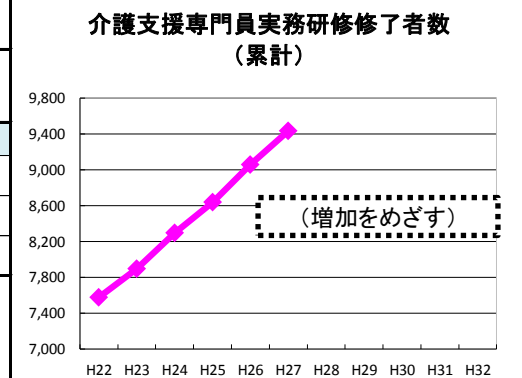
A(100%以上) B(80%～100%未満)
C(70%～80%未満) D(70%未満)
※増加を目指す指標→実績/目標
※減少を目指す指標→目標/実績

■実績値
◆目標値

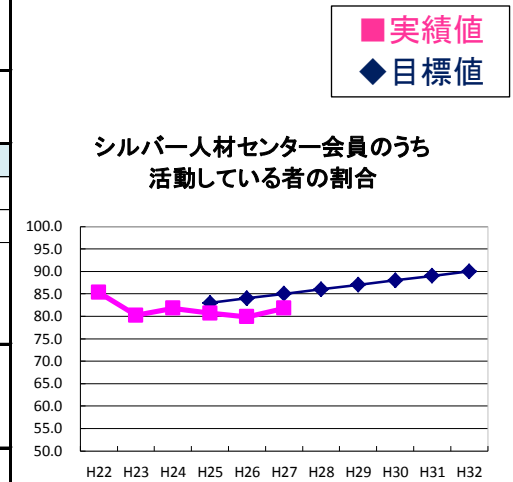
③指標No.、名称	61 地域福祉計画策定率											
④指標の説明	県内において地域福祉計画を策定している市町村の割合											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	目標	—	32.2	37.5	42.8	48.1	53.4	58.7	64.0	69.3	74.6	80.0 %以上
	実績	—	32.2	35.6	39.0	40.7	45.7					
達成状況	—	—	—	—	B	B						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成27年度の目標値「53.4%」に対して実績「45.7%」で、85.5%の達成率となっている。(H27:27市町村で策定)											
⑦今後の課題	策定市町村の増加数があまり伸びていないため、引き続き、未策定市町村への周知、策定促進に努める必要がある。											



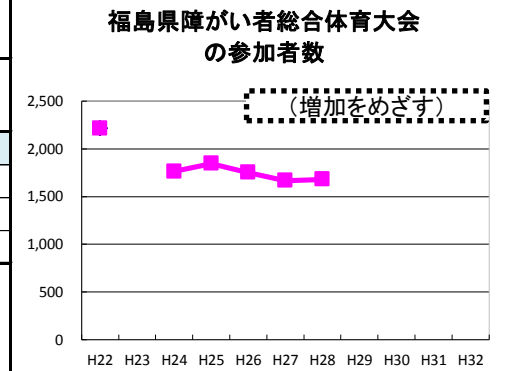
③指標No.、名称	62 介護支援専門員実務研修修了者数(累計)											
④指標の説明	修了者実績による											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	目標											(増加をめざす)
	実績	7,580	7,898	8,298	8,638 人	9,057	9,432 人					
達成状況	—	—	—	—	—	—						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	研修終了者数は当該年の実務研修受講試験合格者数により若干変動があるが、研修は毎年実施しており、増加は確実に見込まれる。											
⑦今後の課題												



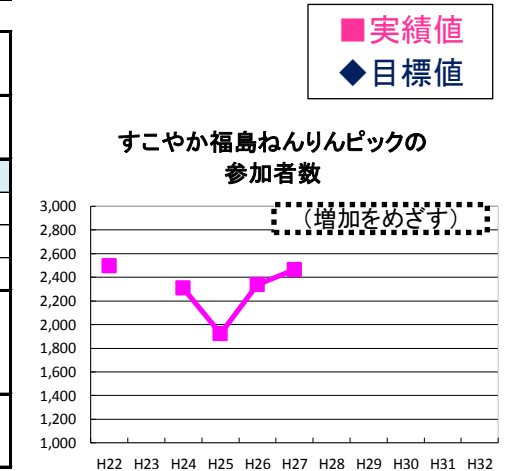
③指標No.、名称	63 シルバー人材センター会員のうち活動している者の割合										
④指標の説明	県内のシルバー人材センターの会員のうちどのくらいの会員が就業しているかを示す指標										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	—	—	83.0	84.0	85.0	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0 %以上
	実績	85.3	80.2	81.8	80.7	79.9	81.8				
達成状況	—	—	—	—	B	B					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	目標値には届かなかったが、達成度96.2%であり、おおむね順調であると考えられる。										
⑦今後の課題	減少の兆しのある会員数(入会者数)に注視する必要がある。										



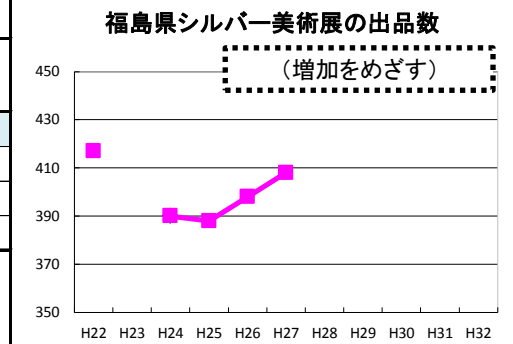
③指標No.、名称	64 福島県障がい者総合大育大会の参加者数										
④指標の説明	福島県障がい者総合大育大会に参加した選手数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	2,214 人以上			(増加をめざす)							
	実績	2,214	開催中止	1,762	1,846	1,752	1,666	1,681 人			
達成状況	—	—	—	—	—	—	—				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	H28(福島大会)の参加者数は、前年を若干上回る結果となった。										
⑦今後の課題	県全体の人口減少が続く中、より多くの参加者を集めるには広報活動などの工夫が必要。										



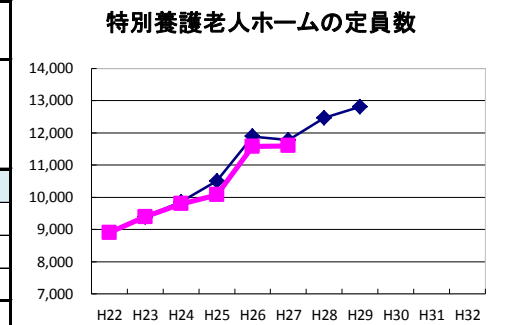
③指標No.、名称	65 すこやか福島ねんりんピックの参加者数										
④指標の説明	「すこやか福島ねんりんピック」に参加した選手の数(累計)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				2,306 人以上	(増加をめざす)						
	実績	2,496	開催中止	2,306	1,922	2,336	2,463 人				
達成状況	—	—	—	—	—	—	—				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	毎年参加者が多く、高齢者の生きがい健康づくりに寄与している。(競技日程の関係から募集定数を設けざるを得ず、ある程度の増加は見込めるが、大幅増加は見込めない。)										
⑦今後の課題	競技人口の減少している競技種目があり、参加競技種目の見直しを検討する必要がある。										



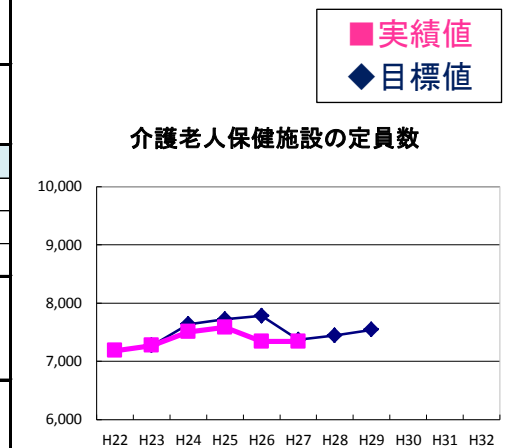
③指標No.、名称	66 福島県シルバー美術展の出品数										
④指標の説明	「福島県シルバー美術展」に出品された作品の数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	417	開催中止	390	388	398	408 作品	(増加をめざす)				
	—	—	—	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	出品数は24年度以降増加しているが、震災前の数まで回復していない。										
⑦今後の課題	出品数を増加させるには、更なる広報活動などを行う必要がある。										



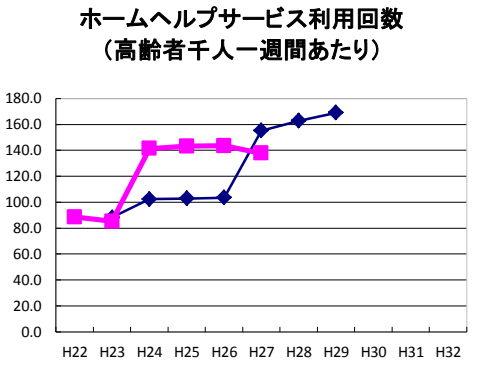
③指標No.、名称	67 特別養護老人ホームの定員数										
④指標の説明	第七次福島県高齢者福祉計画・第六次福島県介護保険事業支援計画における特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設及び地域密着型介護老人福祉施設)の整備計画数(累計)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	9,392	9,854	10,503	11,889	11,778	12,468	12,807 人			
	8,904	9,392	9,799	10,073	11,579	11,599 人					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	実績は目標値の98.5%となっているが、建築費用の高騰などにより、整備が遅れている施設が見受けられる。										
⑦今後の課題	介護職員の確保・定着が課題となっている。										



③指標No.、名称	68 介護老人保健施設の定員数										
④指標の説明	第七次福島県高齢者福祉計画・第六次福島県介護保険事業支援計画における介護老人保健施設の整備計画数(累計)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	7,270	7,636	7,722	7,780	7,368	7,441	7,541 人			
	7,181	7,270	7,503	7,582	7,338	7,338 人					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	実績は目標値の99.6%となっているが、建築費用の高騰などにより、整備が遅れている。 (参考:H25からH26の定員数の減は、相双圏域の休止施設で許可有効期限が満了したことが主な理由である。)										
⑦今後の課題	介護職員の確保・定着が課題となっている。										

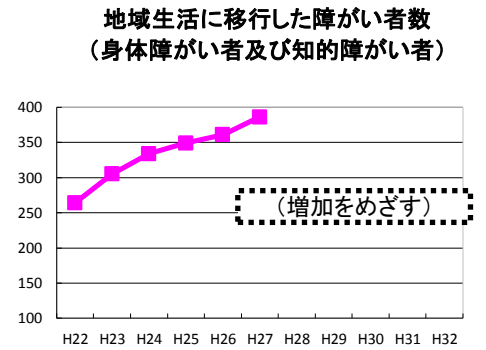


③指標No.、名称	69 ホームヘルプサービス利用回数(高齢者千人一週間あたり)											
④指標の説明	各年度の訪問介護サービスの高齢者千人当たりの週間利用回数											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	目標	—	88.1	102.3	102.8	103.5	155.1	162.7	169.0	回/週以上		
	実績	88.5	85.2	141.4	143.2	143.5	137.7	回/週				
達成状況	—	—	—	—	A	B						
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	23年度は震災の影響によって実績が減少したが、24年度以降は増加に転じ、26年度は目標値を上回る数値となった。27年度は総合事業への移行の関係で実績が減少している。											
⑦今後の課題	本県では震災以降介護人材の不足が深刻となっているが、訪問介護サービスを必要とする方々が必要なサービスを受けることができるように、サービス基盤の整備や介護人材の確保等を行っていく必要がある。											



H25年度に相双圏域等市町村の計画策定・変更に伴う県計画の変更(H25審議会報告済み)

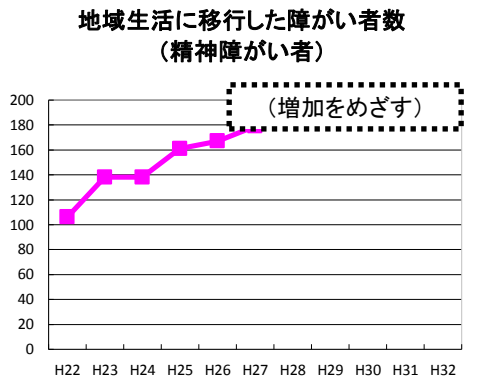
③指標No.、名称	70 地域生活に移行した障がい者数(身体障がい者及び知的障がい者)(H18年度以降の累計)										
④指標の説明	施設から、グループホーム・ケアホーム、単身生活又は家庭復帰した身体障がい及び知的障がい者数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標	—	438	—	515	(増加をめざす)					
	実績	264	305	334	349	361	386人				
達成状況	—	—	—	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	障がい者の地域生活移行を推進するためグループホーム等の設置促進が必要であるが、震災の影響によりグループホームに利用できる物件の不足や支援者不足が顕著となっている。さらに消防法施行令が改正(平成27年4月1日施行)され、スプリンクラー設置が義務づけとなることにより、グループホームの整備が進まないことも考えられる。										
⑦今後の課題	グループホームの整備や障がい者の居住の場を確保するため、地域の自立支援協議会と連携を強化することで問題を解決していく必要がある。また福島県居住支援協議会や不動産事業者とも連携、情報共有を図る必要がある。										



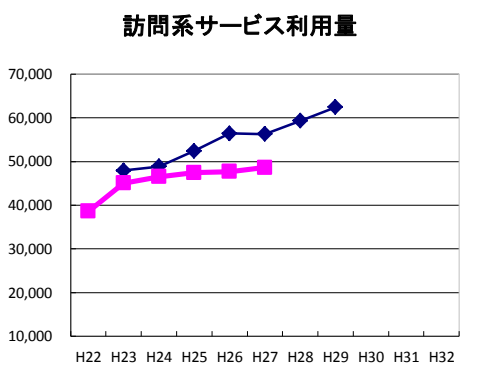
■実績値
◆目標値

③指標No.、名称	71 地域生活に移行した障がい者数(精神障がい者)(H21年度以降の累計)										
④指標の説明	病院から、グループホーム・ケアホーム、単身生活又は家庭復帰した精神障がい者数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実績	106	138	138	161	167	179	—	—	—	—	—
達成状況	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	<p>指標の根拠としていた特別対策事業が平成23年度に終了し、平成24年度以降、指標の現況値が把握できない状況であった。平成25年度については、単年度で行われた障害者総合支援法における精神障がい者の地域移行支援及び地域定着支援に関する実態調査を基に実績を出した。</p> <p>また、平成26年度以降は、国保連合会提供「障がい福祉サービス費等実績データ」に基づき、障がい福祉課が調査し実績値を把握している。</p>										
⑦今後の課題	<p>全国と比較し精神科入院患者が多く、しかも長期入院患者が多いこと、また、地域で生活する際に必要なグループホームや訪問看護等のサービスが不足していることなどから、地域生活移行がなかなか進まない状況である。</p> <p>今後は、医療機関や福祉サービス事業所向けの研修や、地域移行を促進するための検討を圏域毎に行うなど、精神障がい者の地域移行を促進させる取組を行っていく必要がある。</p>										

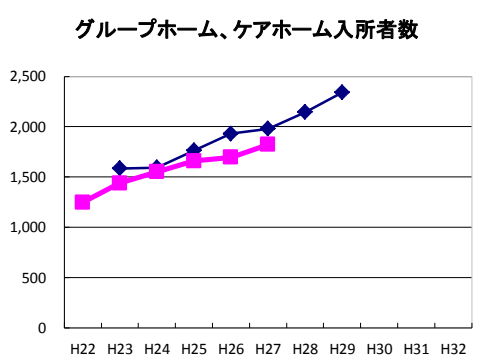
■実績値
◆目標値



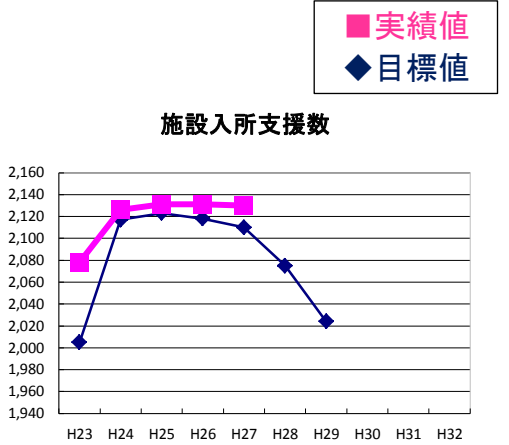
③指標No.、名称	72 指定障害福祉サービスの訪問系サービス(居宅介護、重度訪問介護、行動援護、重度障害者包括支援)利用量										
④指標の説明	障害福祉サービスの1ヶ月当たりの利用時間数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	47,936	48,852	52,404	56,405	56,272	59,283	62,405	時間/月以上	—	—
実績	38,611	45,042	46,521	47,435	47,661	48,602	—	—	—	—	—
達成状況	—	—	—	—	B	B	—	—	—	—	—
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	<p>訪問系サービスの利用者数は、年々増加してきており、今後も利用者数及び利用時間の伸びが見込まれるため、一層の供給体制の充実が求められている。</p>										
⑦今後の課題	<p>介護職員の不足に対する対策や質の高いサービスを提供できる人材の育成が必要となる。</p>										



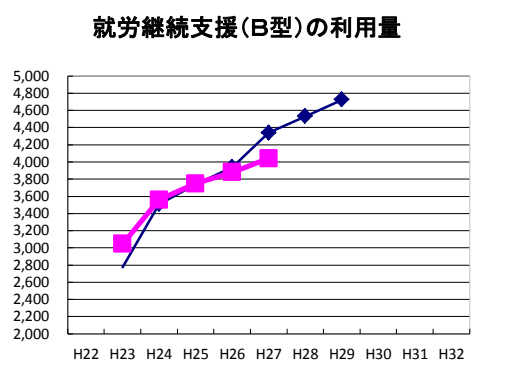
③指標No.、名称	73 指定障害福祉サービスの居宅系サービスのグループホーム、ケアホーム利用者数										
④指標の説明	指定障害福祉サービスの居宅系サービスのグループホーム、ケアホーム利用者数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	1,586	1,594	1,764	1,930	1,980	2,146	2,340	人以上	—	—
実績	1,249	1,440	1,551	1,659	1,696	1,823	—	—	—	—	—
達成状況	—	—	—	—	B	B	—	—	—	—	—
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	<p>障がい者が自立し、自らが望む地域で生活していくためには、生活の場が確保されていることが前提となる。年々利用者が増加するため整備量の伸びを維持していく必要がある。</p>										
⑦今後の課題	<p>制度や必要性は理解されてきているものの、地域住民の反対等により設置を再検討せざるえない事例も発生しているため、地域社会の理解の促進を図る必要がある。</p>										



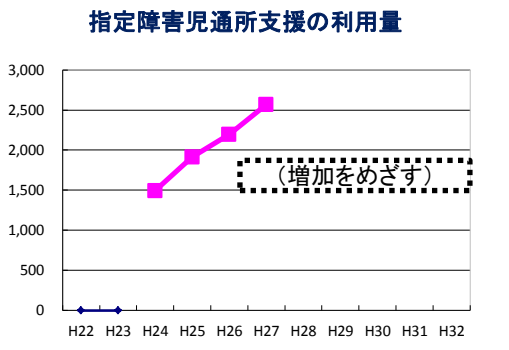
③指標No.、名称	74 指定障害福祉サービスの居宅系サービスの施設入所支援数										
④指標の説明	指定障害福祉サービスの居宅系サービスの施設入所支援数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	2,005	2,117	2,123	2,118	2,110	2,075	2,024	人/月		
	—	2,078	2,126	2,131	2,131	2,130	人				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	国の方針は地域生活への移行としているが、高齢化、重度化等により地域生活への移行が難航している。										
⑦今後の課題	地域移行を進めるため社会資源の整備を行う必要がある。										



③指標No.、名称	75 指定障害福祉サービスの日中活動系サービスの就労継続支援(B型)の利用量										
④指標の説明	指定障害福祉サービスの日中活動系サービスの就労継続支援(B型)の利用者数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	2,776	3,507	3,741	3,938	4,340	4,530	4,723	人/月		
	—	3,045	3,560	3,748	3,880	4,042	人				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	目標には及ばないが、利用者数は着実に増加している。										
⑦今後の課題	就労継続支援B型事業所数、利用者数ともに年々増加しているが、生産性の低い事業所も見られ、質の向上が問題である。(事業所数178ヶ所※従たる事業所、出張所、休止事業所を除く)										

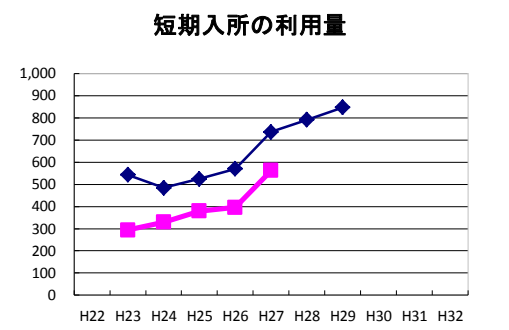


③指標No.、名称	76 指定障害児通所支援の利用量										
④指標の説明	指定障害児通所支援の利用量										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	—	1,493	1,914	2,194	2,568	人/月				
	—	—	—	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	<p>一月当たりの利用人数は着実に増加している。</p> <p>平成24年4月1日より、障がい児サービスの根拠法が児童福祉法に一元化され、障害児通所支援に再編された。</p>										
⑦今後の課題	通所利用の障がい児やその家族への支援等に対応できるよう事業所の設置等についての助言・指導を行う必要がある。第4期障がい福祉計画に基づき、各圏域の状況を踏まえ、供給量の増加を図る必要がある。										

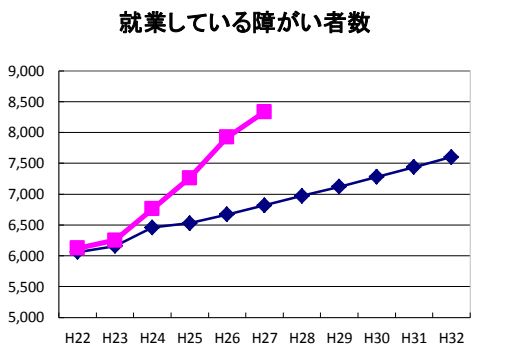


③指標No.、名称	77 指定障害福祉サービスの日中活動系サービスの短期入所の利用量										
④指標の説明	短期入所の利用人員										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	543	484	525	570	736	791	847	人/月		
	—	294	329	379	396	562	人/月				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	27年度実績では前年度の約1.4倍に増えている。										
⑦今後の課題	サービスを提供できる事業者を増やす必要がある。										

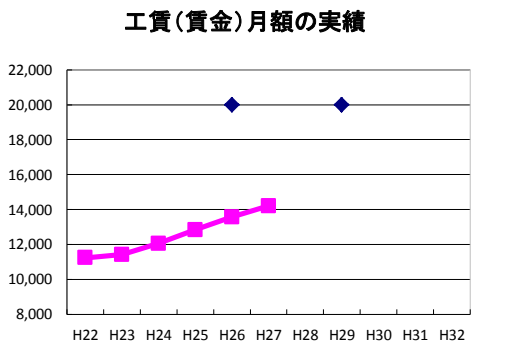
■実績値
◆目標値



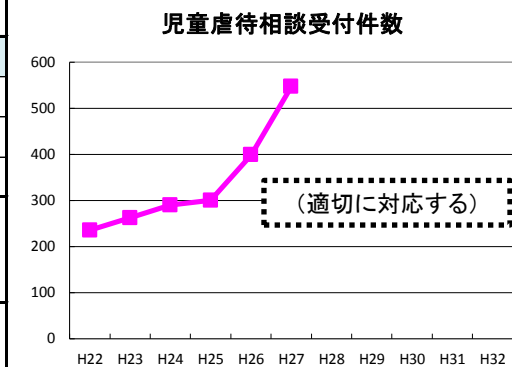
③指標No.、名称	78 就業している障がい者数											
④指標の説明	就業している障がい者数											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	6,063	6,157	6,458	6,530	6,670	6,820	6,970	7,120	7,280	7,440	7,600	人以上
	6,122	6,251	6,760	7,263	7,923	8,336	人					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	障害者法定雇用率が平成25年4月1日から1.8%から2.0%に引き上げになったことにより、就職している障がい者数が増加している。障がい者雇用に関する各種支援制度が整備されてきていることから、今後も就職している障がい者数は増加していくと考える。											
⑦今後の課題	引き続き事業者をはじめとする関係者への制度周知に努めていく。											



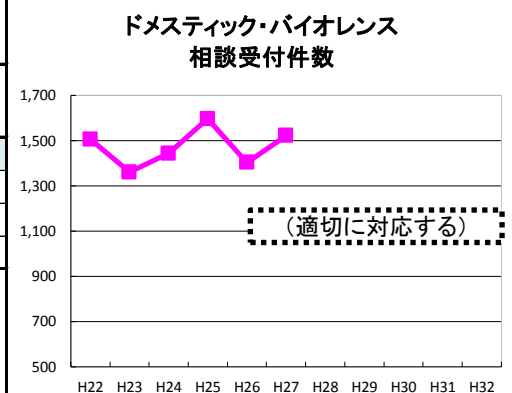
③指標No.、名称	79 工賃(賃金)月額の実績										
④指標の説明	就労継続支援B型事業所(障害者総合支援法に基づく就労継続支援のための施設のうち雇用者と契約を結ばない事業所)における平均工賃										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	20,000 円	(暫定値設定なし)	(暫定値設定なし)	20,000	(暫定値設定なし)	(暫定値設定なし)	20,000 円			
	11,241	11,414	12,056	12,842	13,571	14,205	円				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	目標工賃月額20,000円には及ばないが、毎年度、月額工賃が向上しており、今後も、第3期福島県障がい者工賃向上プランに基づいた工賃向上支援事業(経営意識向上研修、先進事業所視察、共同販売会の開催、販路拡大の営業活動等)をとおして、月額工賃の向上が期待できる。										
⑦今後の課題	就労継続支援B型事業所の管理者、職員等の工賃向上への意識向上、製品の販路拡大、より質の高い製品、サービスの提供、食品表示法への対応等										



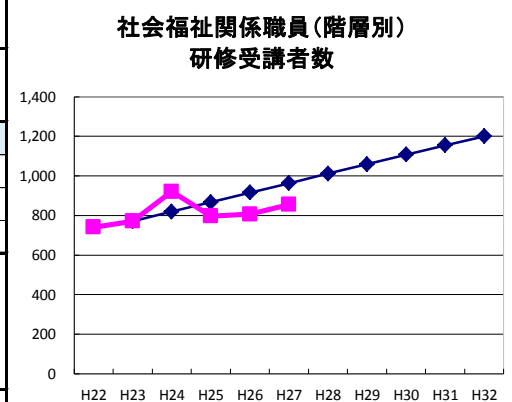
③指標No.、名称	80 児童虐待相談受付件数										
④指標の説明	児童相談所が受け付けた児童虐待相談件数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標						(適切に対応する)				
	実績	235	262	290	300	399	547 件				
達成状況		—	—	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	子ども虐待対応の手引き(厚生労働省)の改正に伴い心理的虐待の対象ケースが拡大されたこと及び警察からの通告件数が増加したことにより、件数が増加している。										
⑦今後の課題	今後とも、虐待の未然防止に向けて関係機関とより一層緊密に連携し、適切に対応する必要がある。										



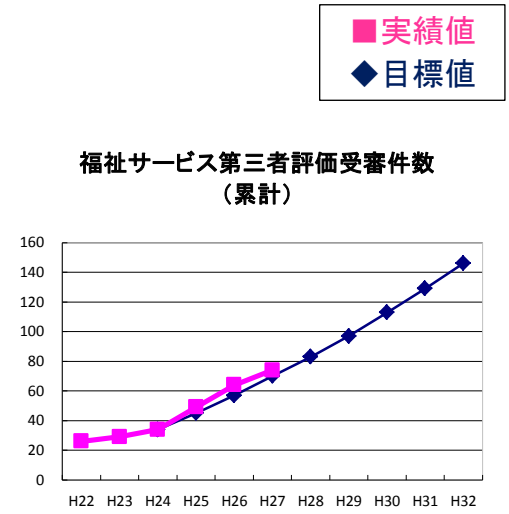
③指標No.、名称	81 ドメスティック・バイオレンス相談受付件数										
④指標の説明	配偶者暴力相談センターが受け付けたDV相談件数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標						(適切に対応する)				
	実績	1,507	1,361	1,444	1,597	1,404	1,523 件				
達成状況	—	—	—	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	震災や原発事故の影響による著しい変化は今のところみられないが、前年度に比べて相談受付件数は増加している。しかし、避難者においては、生活環境の変化などのストレスにさらされた生活が続いていることから、今後もDV被害が増加することが懸念される。										
⑦今後の課題	広報啓発により相談窓口等の周知を図るほか、被害者の支援について関係機関と連携し適切な対応を行う。										



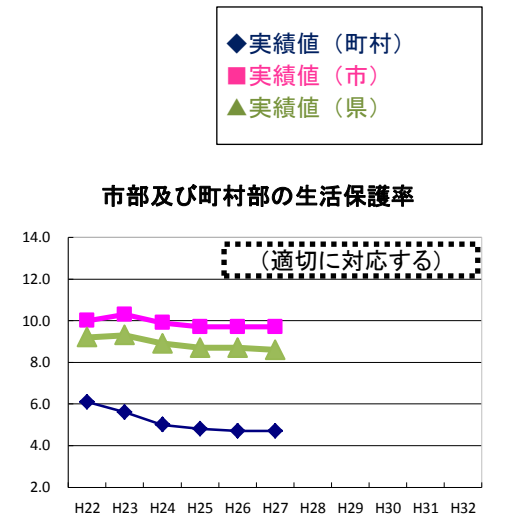
③指標No.、名称	82 社会福祉関係職員(階層別)研修受講者数										
④指標の説明	社会福祉施設の職員に係るキャリアパス研修の受講者数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標										
	実績	741	771	921	797	807	855 人				
達成状況	—	—	—	—	B	B					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	県内施設等の要望を踏まえ、平成27年度は定員を60名増の960名で階層別研修を開催し、855名(約9割)の受講があった。利用者の立場に立ち、より質の高いサービスを提供していくために、高い専門性と豊かな人間性を備えた人材の養成・確保がこれまで以上に求められており、研修受講者を増加させる必要性は高まっている。										
⑦今後の課題	職員個々の経歴を踏まえた研修計画を策定させるとともに、キャリアパスとしての研修機会を十分に確保させるため、研修受講を呼びかけていく必要がある。										



③指標No.、名称	83 福祉サービス第三者評価受審件数(累計)										
④指標の説明	平成19年度からの第三者評価を受審した事業所の延べ累計数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	29	34	45	57	70	83	97	113	129	146 件以上
	26	29	34	49	64	74					
達成状況	—	—	—	—	A	A					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	社会的養護施設については、3年に1回受審することが義務化されたことや評価機関に委託し実施した「福祉サービス第三者評価推進サポート事業」による評価受審希望事業者への出前講座などを行うことにより、受審に向けた環境が整備されてきたが、全体の評価件数は平成26年度15件、平成27年度10件となっており、さらなる受審促進が必要と思われる。										
⑦今後の課題	保育所については、第三者評価の受審率目標が定められ、5年に1回の受審が努力義務とされた。県内には300を超える保育所があるため、評価機関による評価実施の体制整備と評価調査者の養成を行っていく必要がある。										



③指標No.、名称	84 市部及び町村部の生活保護率										
④指標の説明	人口1,000人あたりの被保護人員数										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	目標						(適切に対応する)				
	実績(町村)	6.1	5.6	5.0	4.8	4.7	4.7	%			
	実績(市)	10.0	10.3	9.9	9.7	9.7	9.7	%			
	実績(県)	9.2	9.3	8.9	8.7	8.7	8.6	%			
達成状況	—	—	—	—	—	—					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	高齢化の進展により高齢世帯の数は増加が見られるものの、全体的には震災復興事業による雇用環境の改善が続いていることから、保護率は横ばいの傾向が続いている。										
⑦今後の課題	復興事業や避難地域の指定の見直しなどにより保護動向が大きく左右されることが想定されるので、そうした動きを注視していく必要がある。										



指標の進行状況

①基本目標	6 誰もが安全で安心できる生活の確保
②施策	(1) 飲料水及び食品等の安全性の確保(再掲) (2) ユニバーサルデザインに配慮した人にやさしいまちづくりの推進 (3) 生活衛生水準の維持向上 (4) 安全な水の安定的な供給 (5) 生産から消費に至る食の安全・安心の確保 (6) 人と動物の調和ある共生 (7) 健康危機管理体制の強化 (8) 災害時の保健医療福祉体制の強化

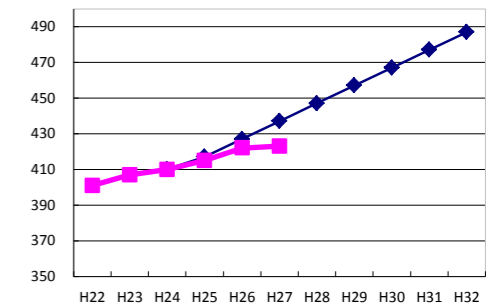
(注)⑥指標の推移
<目標値がある指標の達成状況>

A(100%以上) B(80%~100%未満)
C(70%~80%未満) D(70%未満)
※増加を目指す指標→実績/目標
※減少を目指す指標→目標/実績

③指標No.、名称	85 やさしさマーク交付数(累計)										
④指標の説明	人にやさしいまちづくり条例の整備基準に適合する施設に対し県が交付した適合証(やさしさマーク)の数(累計)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	—	410	417	427	437	447	457	467	477	487 件以上
	401	407	410	415	422	423					
目標	—	—	—	—	B	B					
実績	—	—	—	—	B	B					
達成状況	—	—	—	—	B	B					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	基準に適合する施設の整備が少なく交付件数が伸び悩んでいる。										
⑦今後の課題	イベントや研修会など様々な機会を捉えて、「やさしさマーク」のPRを行うとともに、市町村、商工団体等に対して、チラシ等を送付し、「やさしさマーク」の取得についての更なる普及・啓発を行う。										

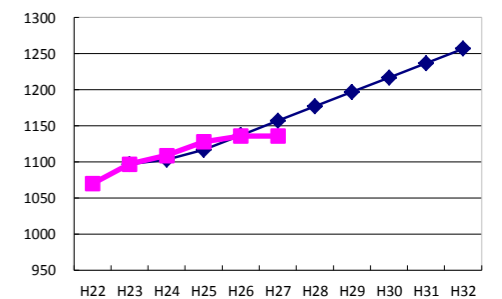
■実績値
◆目標値

やさしさマーク交付数(累計)



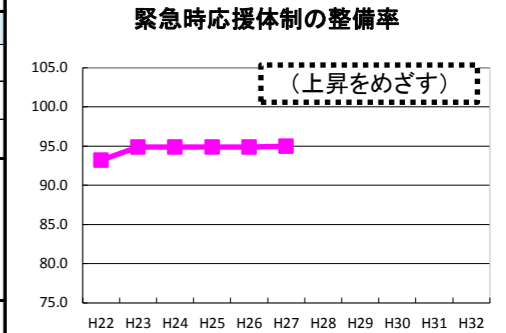
③指標No.、名称	86 おもいやり駐車場協力施設数(累計)										
④指標の説明	おもいやり駐車場利用制度について県に協力申出書を提出した公益的施設の累計										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	—	1,097	1,103	1,117	1,137	1,157	1,177	1,197	1,217	1,237	1,257 件以上
	1,070	1,097	1,109	1,128	1,136	1,136					
目標	—	—	—	—	B	B					
実績	—	—	—	—	B	B					
達成状況	—	—	—	—	B	B					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	公共施設においては、制度への理解や協力は得られているものの、民間の新たな施設の協力が得られていない。										
⑦今後の課題	新たに建築される公益的施設について、制度への理解や協力が得られるよう、様々な媒体を活用して更なる周知・啓発を行う。										

おもいやり駐車場協力施設数(累計)



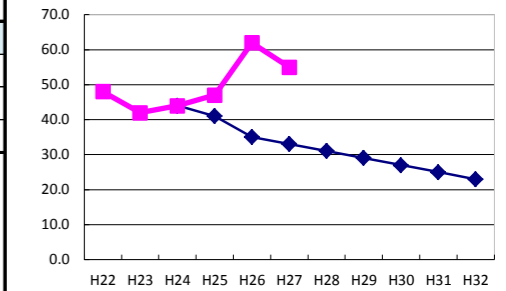
③指標No.、名称	87 緊急時応援体制の整備率										
④指標の説明	水道に係る災害時応援協定を締結している市町村の割合										
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	(上昇をめざす)										
	93	95	95	95 %	95	95 %					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	一部の市町村を除き、緊急時の応援体制は整備されているが、昨年度からの変化は認められなかった。応援協定等は市町村が自ら判断し締結するものであるため、県の働きかけが直ちに締結率の向上につながるものではないが、引き続き、その必要性に関して助言等を行っていく。										
⑦今後の課題	緊急時応援体制の実効性をより高めるため、応援協定等の内容把握に努める必要がある。										

■実績値
◆目標値

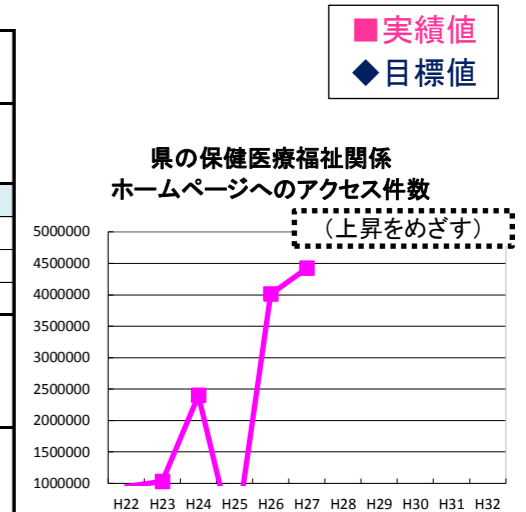


③指標No.、名称	88 不良食品発生件数(放射性物質を除く)										
④指標の説明	県内で生産・製造等された食品で、食品衛生法に基づく規格基準等に違反する食品の発生件数										
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	48	42	44	47	62	55	31	29	27	25	23件以下
					D	D					
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成27年度、食品衛生法及び食品表示法(衛生事項)上の不良食品の発生件数は55件であった(食品製造施設38件、食品の流通販売施設11件及び学校給食施設6件)。26年度と比較して食品製造施設が4件及び食品の流通販売施設が3件減少したものの、学校給食関係施設では26年度より2件増加した。										
⑦今後の課題	平成27年度の食品製造施設における38件の不良食品の内訳をみると、異物混入が16件と最も多く、次いで表示違反が13件、カビ発生が5件、規格基準違反3件と、26年度と同様の発生傾向が見られた。 今後、食品製造施設の監視や施設従事者を対象とした衛生講習会において、適正な食品表示や異物混入防止対策として、HACCP方式による衛生管理方法を取り入れ、各食品営業施設の衛生管理体制に応じた的確な指導を行っていく必要がある。 平成28年度も、引き続き不良食品の発生原因を詳細に分析し、食品製造施設をはじめ、市場・小売店等の食品調理・流通販売施設及び学校給食関係施設等の集団給食施設を対象として、「ふくしま食の安全・安心対策プログラム」に基づく重点的な監視指導を行い、不良食品の発生の防止に努める。										

不良食品発生件数
(放射性物質を除く)



③指標No.、名称	89 県の保健医療福祉関係ホームページへのアクセス件数										
④指標の説明	広報課で集計している月別ホームページアクセス件数を年度毎集計する。(保健福祉部関係のホームページ)										
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	948,359	1,031,618	2,398,603	-	4,011,104	4,422,573	(上昇をめざす)				
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成25年10月の県ホームページ更新に伴い集計方法が変更。25年度はデータなし。そのため平成22～24年度のデータは参考とする。										
⑦今後の課題	見やすく、分かりやすく、タイムリーな情報発信に努めていく。										



③指標No.、名称	90 避難行動要支援者の個別計画の策定市町村数										
④指標の説明	市町村で策定する災害時要援護者避難支援個別計画の策定数										
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	-	-	19	26	-	17	53	59	59	59	59
⑥達成状況の分析 ※現状分析や今後の見通し	平成26年度から義務化された避難行動要支援者名簿作成、避難支援等関係者への名簿情報の提供を進めており、今後個別計画の作成に移っていく。(H25までは個別計画を策定した市町村数、H26からは避難行動要支援者名簿を外部の支援者へ提供することに同意した者のうち、個別計画を策定した市町村数となった影響から実績値は減少している。)										
⑦今後の課題	平成26年度から義務化された避難行動要支援者名簿作成と一体的な取組を進める。										

